地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	111101	担当課室	各課室
事業名	市民ふれあい講座の実施		
事業概要	市内の団体等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を生かした実習等の講座の実施		
R5の取組内容	「防災・減災について」、「介護保険と高齢者福祉サービスの概要」、「消費生活「こんなトラブルにご用心」等、全６０項目の講座メニューにより実施		
評価内容	評価指標	市民ふれあい講座の実施回数	
	R4	評価	評価理由
	8回	A	毎年、講座メニューの更新作業を行っており、令和５年度は、全６０項目の講座メニューにより実施した。
	R5		今後の課題
	23回		今後も、同様に市民ふれあい講座を実施する。

事業№	111102	担当課室	秘書広報室
事業名	人権擁護に関する啓発事業		
事業概要	人権擁護委員と連携し、人権の尊重についての広報・啓発に努める。		
R5の取組内容	イオンモール銚子(しおさいプラザ)にて２日間啓発物品を配布し、啓発活動を実施した。 市役所一階(市民課前)にて、日本人拉致問題啓発アニメを５日間放映。		
評価内容	評価指標	人権擁護に関する啓発事業の実施の有無	
	R4	評価	評価理由
	有	A	人権擁護委員１１名と協力し、２日間の啓発活動を無事実施。 啓発アニメの放映も問題なく実施。
	R5		今後の課題
	有		今後も啓発とその活動を周知する方法を模索し、多くの人に啓発活動を知っていただく必要がある。

事業№	111103	担当課室	障害支援室
事業名	精神保健大会の開催		
事業概要	社会福祉関係者が一堂に会し一層の努力を誓うとともに、併せて社会福祉・精神保健の推進に貢献のあった方々を表彰し、感謝の意を表するための大会を開催する。これにより地域福祉の理解を促進する。		
R5の取組内容	令和６年２月１４日、第５３回銚子市精神保健大会を開催（第６０回銚子市福祉大会と合同開催）。 市長感謝状４名、精神保健対策協議会会長感謝状８名・１団体。		
評価内容	評価指標	精神保健大会の開催の有無	
	R4	評価	評価理由
	有	A	大会を開催。 コロナ禍により中止していた講演会も再開するも大会の内容をさらに充実させることを検討。
	R5		今後の課題
	有		より多くの一般市民の参加を得るなど、大会内容の充実を図る。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	111201	担当課室	秘書広報室
事業名	子ども人権教室の開催		
事業概要	教育委員会と連携をし、市内小・中学校を対象とした子ども人権教室を開催する。		
R5の取組内容	小学校５校、中学校２校、計７校　２７４人を対象に人権教室を開催。		
評価内容	評価指標	子ども人権教室の開催回数	
	R4	評価	評価理由
	1回	A	令和５年度から小学校での人権教室を開始。 開催回数も前年より増加。
	R5		今後の課題
	７回		教育委員会、人権擁護委員との連携をし、市内小中学校での開催数を増加できないか検討する。

事業No.	111202 (211102)	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜学校における福祉教育の充実＞ 認知症サポーター養成講座の開催（学校や職域など）【重複】		
事業概要	学校で、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成する講座を開催する。		
R5の取組内容	講座を８回開催し、２２２人のサポーターを養成した。 （小学校３回・５３人、中学校１回・１７人、大学２回・１２３人、職域２回・２９人）		
評価内容	評価指標	認知症サポーター養成講座の開催回数・受講者数	
	R4	評価	評価理由
	9回・252人	A	今年度については例年実施している講座のほか、小学校や中学校及び金融機関での開催が８回実施できたことで、幅広い年齢層が受講出来た。
	R5		今後の課題
	8回・222人		学校のカリキュラムの中ではなく、空き時間を利用して開催することが多く、受講する小中学生が興味が持って受講できるよう内容を考える工夫が必要。

事業No.	111203	担当課室	高齢者福祉課
事業名	高齢者疑似体験		
事業概要	高齢者疑似体験装具を着用することで、加齢による身体的な変化を知り、高齢者に対する理解を促す。		
R5の取組内容	双葉小学校で行った認知症サポーター養成講座の中で疑似体験を実施した。（２回、３６人）		
評価内容	評価指標	高齢者疑似体験の実施回数	
	R4	評価	評価理由
	２回	A	計画どおり実施できた。
	R5		今後の課題
	２回		小中学校などを対象とした認知症サポーター養成講座の中で、学校の要望に応じて対応する。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	111204	担当課室	指導室
事業名	児童生徒に対する福祉・人権教育の推進		
事業概要	道徳、学級活動、総合的な学習の時間などを活用しながら人権教育を実施し、豊かな人間性の育成を図る。		
R5の取組内容	啓発資料の配布、相談窓口先、研修案内等を各小中学校及び高等学校へ周知した。		
評価内容	評価指標	児童生徒に対する福祉・人権教育の実施の有無	
	R4 有	評価 A	評価理由：道徳、学級活動、総合的な学習の時間などを活用し、人権教育を実施。
	R5 有		今後の課題：人権尊重の視点に立った学校づくりを心がけ、「自分の大切さ、他の人の大切さを認めること」を意識し、態度や行動にも現れるように指導を行う。

事業No.	112101	担当課室	各課室
事業名	市ホームページや広報紙のほか様々な媒体を使った情報発信		
事業概要	情報発信を通して、地域福祉の理解を促進し、福祉意識を高める。		
R5の取組内容	担当課で作成したホームページの内容のスライド画像の作成、社会福祉関連の記事を広報紙やSNSに掲載した。		
評価内容	評価指標	市ホームページや広報紙などによる情報発信の有無	
	R4 有	評価 A	評価理由：福祉関連の記事やNPO法人、民間ボランティア掲載を広報紙、SNSを使って周知。
	R5 有		今後の課題：今後も継続的に記事の掲載、SNSでの発信に努める。

事業No.	112101	担当課室	秘書広報室
事業名	市ホームページや広報紙のほか様々な媒体を使った情報発信		
事業概要	情報発信を通して、地域福祉の理解を促進し、福祉意識を高める。		
R5の取組内容	担当課で作成したホームページの内容のスライド画像の作成、社会福祉関連の記事を広報紙やSNSに掲載した。		
評価内容	評価指標	市ホームページや広報紙などによる情報発信の有無	
	R4 有	評価 A	評価理由：福祉関連の記事やNPO法人、民間ボランティア掲載を広報紙、SNSを使って周知。
	R5 有		今後の課題：今後も継続的に記事の掲載、SNSでの発信に努める。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	121101	担当課室	総務室
事業名	町内会連合協議会運営支援		
事業概要	町内会連合協議会に対して事務面での側面支援を行うとともに、運営費補助金を支出する。		
R5の取組内容	コロナ禍により休止していた事業の再開に応じて、運営費補助金を支出した。		
評価内容	評価指標	町内会連合協議会運営費補助額	
	R4	評価	
	0円	A	評価理由：事務面での側面支援を行うとともに、運営費補助金を支出した。
	R5		今後の課題：運営費補助金の予算額算出根拠の明確化が求められている。
	160,000円		

事業№	121201	担当課室	学校教育室（市民センター）
事業名	社会教育施設や開放学校などの公共施設の利用促進		
事業概要	小中学校及び高等学校の施設をスポーツの場として住民に開放し、社会体育の普及を図る。		
R5の取組内容	小中学校及び高等学校の施設をスポーツの場として住民に開放した。		
評価内容	評価指標	開放学校の利用の有無	
	R4	評価	
	有	A	評価理由：窓や出入り口などの施錠確認、施設利用ルールを周知し、トラブル無く開放することができた。
	R5		今後の課題：引続き、円滑な制度の運用を図る。
	有		

事業№	121201	担当課室	（学校教育室）市民センター
事業名	社会教育施設や開放学校などの公共施設の利用促進		
事業概要	児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設としての責務を果たし、施設の利用促進に努める。		
R5の取組内容	新型コロナウイルス感染防止対策が５類に移行したことにより、サークル及び団体による施設の利用制限を解除した。		
評価内容	評価指標	社会教育施設の利用者数	
	R4	評価	
	47,238	B	評価理由：利用者が増加した。
	R5		今後の課題：現在利用しているサークル及び団体の高齢化に伴う解散により、今後、利用者の減少が予想される。このため、社会教育法の規定の範囲内において、より幅広い層の利用促進を図っていく必要がある。
	59,408		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	121301	担当課室	社会福祉室
事業名	福祉まつりの開催支援		
事業概要	銚子市ボランティア連絡協議会が主催する「福祉まつり」の開催を支援する。		
R5の取組内容	市は、福祉まつりを後援。銚子市ボランティア連絡協議会からの要請を受け、社会福祉室職員が「福祉まつり」実行委員会会議に参画した。市福祉関連課が開催日当日のイベントメニューに参加、また、パンフレットの配置による各種制度の周知を行った。		
評価内容	評価指標	福祉まつりに対する支援の有無	
	R4	評価	評価理由
	無	A	市は後援を承認。 令和５年度から、新たに福祉まつりの企画段階から市が参画し、当日イベントにも参加。
	R5		今後の課題
	有		主催者は、次年度以降市の共催を希望しているが、現状の民間主導の開催が適当であると思われる。

事業No.	121302	担当課室	子育て支援課
事業名	保育所の高齢者施設の訪問事業		
事業概要	地域における福祉活動の推進を図るため、保育所園児が老人福祉施設などを訪問し、世代間交流を行う。		
R5の取組内容	新型コロナウイルス感染症予防のため、事業休止		
評価内容	評価指標	訪問事業の実施施設数	
	R4	評価	評価理由
	0件	D	新型コロナウイルス感染症等予防のため未実施
	R5		今後の課題
	0件		今後状況をみて再開を検討する。

事業No.	121401	担当課室	障害支援室
事業名	障害者スポーツ大会の開催支援		
事業概要	障害者がスポーツを通じて、体力の維持・増強などを図るとともに、障害者相互の親睦交流を深め、また、一般住民の障害者に対する理解と関心を高揚することを目的としたスポーツ大会を開催する。（銚子市・旭市・匝瑳市合同）		
R5の取組内容	令和５年１０月２１日、銚子市体育館において、第１８回海匝地区障害者スポーツ大会を開催（銚子市当番市）。		
評価内容	評価指標	障害者スポーツ大会に対する支援の有無	
	R4	評価	評価理由
	有	B	市及び市社会福祉協議会が大会を後援。 大会運営スタッフとして市職員（保健師を含む。）を派遣。
	R5		今後の課題
	有		大会主催者（海匝地区障害者スポーツ大会実行委員会）に参画する障害者団体の弱体化も進んでいることから、自主運営が継続できるよう支援していく。また、一般市民の参加を検討する。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	121402	担当課室	高齢者福祉課
事業名	シニアクラブの活動促進		
事業概要	高齢者が自らの能力や経験を生かしながら、多様な社会参加ができるようシニアクラブ活動への支援を行う。		
R5の取組内容	銚子市シニアクラブ連合協議会及び各単位クラブ２１クラブに運営費を補助した。また、グラウンドゴルフ大会・スポーツ大会・演芸大会等各活動に対する支援を行った。		
評価内容	評価指標	シニアクラブに対する支援の有無	
	R4	評価	評価理由：銚子市シニアクラブ連合協議会等に運営費を補助。その他各種行事の支援を実施した。
	有	A	
	R5		今後の課題：市のサポートを最小限にとどめ、役員中心の運営へ移行するよう支援をしていく必要がある。
	有		

事業№	121403	担当課室	高齢者福祉課
事業名	家族介護交流会・家族介護教室の開催		
事業概要	家族を介護する方や介護について学習したい方等を対象に、介護に関する知識や技術などを学ぶ交流会・教室を開催する。		
R5の取組内容	２回１コースで実施。すべての日程の参加者には修了証を交付（２３人）した。		
評価内容	評価指標	家族介護交流会の開催回数・参加人数	
	R4	評価	評価理由：計画どおり実施できた。
	2回/延べ5人	A	
	R5		今後の課題：教室の日数を増やすことで、参加者同士の交流時間を確保する。（３回１コースでプログラムを見直す。）
	2回/延べ51人		

事業№	121501	担当課室	障害支援室
事業名	手話講習会の開催		
事業概要	ボランティア意識をもった地域住民を対象として、 ①銚子市・旭市・匝瑳市合同の委託事業である「海匝地区手話奉仕員養成講座」を開催する。 ②市社会福祉協議会の事業である「初級手話講習会」の開催を支援する。		
R5の取組内容	海匝地区手話奉仕員養成講座：講座4回・地域講座2回・実技講座21回、受講者12名 初級手話講習会：講座10回、受講者19名		
評価内容	評価指標	手話講習会の開催回数・受講者数	
	R4	評価	評価理由：コロナ禍を過ぎ、養成講座・講習会を再開。
	0回・0人	B	
	R5		今後の課題：受講者の継続的確保。 受講者のフォローアップができていない。取得した手話を実践できる場の創出。
	27回・12人 10回・19人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	121502	担当課室	子育て支援課
事業名	育児サークルの支援		
事業概要	育児のための情報交換や知識の普及、子育て親子の友達づくりなど、地域で自主的に活動している子育てサークルに情報提供を行う。		
R5の取組内容	取組なし。		
評価内容	評価指標	育児サークルに対する支援の有無	
	R4	評価	評価理由：未実施
	無	D	
	R5		今後の課題：なし
	無		

事業№	121503	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護予防・日常生活支援総合事業		
事業概要	６５歳以上の方を対象に、一人ひとりの状態や必要性に合わせたさまざまなサービスを提供する。介護予防・生活支援サービス、地域で開催する通いの場等の一般介護予防事業を実施。		
R5の取組内容	多様なサービスの創出として、緩和された通所サービスAを試行的に１か所を指定。 介護保険制度の利用ではなく、総合事業対象者としての利用を勧めた。		
評価内容	評価指標	介護予防・日常生活支援総合事業実施の有無	
	R4	評価	評価理由：通所サービスＡを２か所で指定予定だったが、１か所にとどまった。 介護保険の申請ではなく、事業対象者を増やすことができた。
	有	B	
	R5		今後の課題：通所サービスＡの指定事業所を２か所にする。 短期集中サービスなど、その他のサービスについて検討を行っていく。
	有		

事業№	121504 (222101)	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携＞ 生活支援コーディネーターの配置【重複】		
事業概要	日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置する。 日常生活圏域：日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、介護サービス提供状況などを勘案して定める区域。 生活支援コーディネーター：生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者。		
R5の取組内容	第１層（市全域１名）、第２層（西部圏域１名）に生活支援コーディネーター配置済み。未配置圏域（東部・中央）は、人材の発掘・確保に努めた。		
評価内容	評価指標	生活支援コーディネーターの人数	
	R4	評価	評価理由：東部・中央圏域においては未配置。
	2人	B	
	R5		今後の課題：令和６年度から、未配置圏域にコーディネーターを配置予定。 新規配置圏域は、圏域担当委託型包括と連携し、地区組織との関係を構築していく。
	2人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	122101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	銚子プラチナ体操等通いの場の支援及び設置の推進		
事業概要	地区の会場などに集まり、住民が主体的に行う「銚子プラチナ体操」など通いの場の支援及び設置を推進する。		
R5の取組内容	民生委員や町内会の総会や市民講座等で、プラチナ体操のチラシを配布し周知啓発を図った。福祉まつりでは、プラチナ体操を実際に参加者と行い、啓発をすることができた。また、包括支援センターの相談対応時等でも個々への周知を図った。男性の通いの場についての検討を行った。		
評価内容	評価指標	銚子プラチナ体操実施団体数	
	R4	評価	
	52団体（毎週・隔週）	B	評価理由：年間目標を各圏域２か所計６か所としたが、４か所と目標数に届かなかった。しかし、毎週・隔週実施団体の参加者数は、解散団体がある中、R４と同数でとどまった。
	R5		今後の課題：新規団体数を目標値を目安に増やす。男性の通いの場の創設を検討する。
	52団体（毎週・隔週）		

事業No.	122102（221102）	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜交流拠点の整備・確保＞ ふれあい交流サロン支援【重複】		
事業概要	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」の事業費を補助する。		
R5の取組内容	５か所のふれあい交流サロンに対し、事業費を補助するとともに、サロンでの講座等の開催を支援した。		
評価内容	評価指標	ふれあい交流サロンの設置数	
	R4	評価	
	5か所	B	評価理由：５か所合計２４４回延参加者数２，６７４人と前年度よりも増加。
	R5		今後の課題：各圏域２か所のサロン設置を目指す。
	5か所		

事業No.	122103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	認知症カフェ開設補助事業		
事業概要	認知症の方やその家族、地域住民、介護職員など誰もが集え、気軽に悩み相談や世間話などができるコミュニケーションの場である「認知症カフェ」の開設を支援するため、補助金を交付する。		
R5の取組内容	東部圏域に２か所、中央圏域に１か所、西部圏域に１ヶ所設置。カフェそれぞれ自分たちに合った内容を取り入れ、継続した開催を維持している。		
評価内容	評価指標	認知症カフェの設置数	
	R4	評価	
	4か所	B	評価理由：令和５年度において、カフェの新規開設はなし。
	R5		今後の課題：中央と西部圏域それぞれ１ヶ所ずつ増えると良い。
	4か所		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	122104	担当課室	高齢者福祉課
事業名	老人憩の家等の設置		
事業概要	高齢者の心身の健康の増進及び教養の向上並びに市民の福祉の増進を図るため、老人憩の家等を設置、運営する。		
R5の取組内容	銚子市老人憩の家・地域福祉センター及び銚子市芦崎高齢者いこいセンターを設置。指定管理者制度により、業務管理委託による運営をしている。指定管理者により、主催事業、入浴事業、地域の交流の場の提供等を実施している。		
評価内容	評価指標	老人憩の家の設置	
	R4	評価	評価理由
	2か所	A	高齢者の健全な憩の場の確保と地域住民の交流の場として、円滑に管理運営を行っている。
	R5		今後の課題
	2か所		施設の老朽化。 利用者数をコロナ禍前の状況まで復元。

事業№	122105	担当課室	保健事業室
事業名	子育て広場の開設		
事業概要	乳幼児とその保護者が自由に集い、交流や情報交換をし、子育て等の悩みが相談できる場を提供する。		
R5の取組内容	平日９～１２時、水・木曜日の可能な日の１３～１６時にも開設。 保育士が常駐し、適宜遊びの提供・相談対応を実施。保育士のみで相談対応が困難な場合は保健師等へつなげている。		
評価内容	評価指標	子育て広場の開催回数・参加人数	
	R4	評価	評価理由
	270回・6,348人	A	計画通り実施できた。
	R5		今後の課題
	312回・6,685人		今後も広く周知し、必要としている人が利用できるようにしていく。

事業№	122106	担当課室	都市整備室
事業名	地元保存会による公園管理委託事業		
事業概要	公園内の除草等管理業務を地元保存会へ委託する。		
R5の取組内容	地元公園保存会１７団体へ除草等管理業務を委託した。		
評価内容	評価指標	地元公園保存会による公園管理委託数	
	R4	評価	評価理由
	17団体	B	地元公園保存会１７団体へ除草等管理業務を委託した。
	R5		今後の課題
	17団体		公園保存会構成員の高齢化により、保存会の解散が予想されるため、その他の管理方法も検討する必要がある。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）

資料１－１

事業No.	122201	担当課室	障害支援室
事業名	福祉タクシー利用助成事業		
事業概要	障害者等が通院、会合などのために使用するタクシー代を助成することにより、障害者等の移動を支援し、社会参加を促進する。		
R5の取組内容	令和５年度は、６５７人の障害者に対してタクシー券を交付。 （４００円利用券×４枚／月（腎機能障害は１６枚／月））		
評価内容	評価指標	福祉タクシー券交付者数	
	R4	評価	評価理由：事業を継続して実施した。
	700人	A	
	R5		今後の課題：必要に応じて、助成対象者（障害種別等）の拡大及び助成内容の充実（助成金額の増額）などの検討。
	657人		

事業No.	122202	担当課室	障害支援室
事業名	福祉車両貸出事業		
事業概要	心身障害者及び高齢者等の社会参加の促進するため、その移動手段としてリフト付ワゴン車(福祉カー)を貸し出す。		
R5の取組内容	リフト付ワゴン車１台を貸出。令和５年度中、２０件の貸出を行った。		
評価内容	評価指標	福祉カー貸出件数	
	R4	評価	評価理由：貸出事業を実施しているが利用実績が少ない。
	20件	B	
	R5		今後の課題：市HPや広報紙以外による周知方法を検討する。 利用しやすい車両への変更も検討する。
	20件		

事業No.	122203	担当課室	危機管理室
事業名	運転免許証自主返納者支援事業		
事業概要	銚子警察署、公共交通機関と相互協力して高齢者の自動車運転免許証の自主返納を促進し、交通事故の減少を図る。		
R5の取組内容	自動車運転免許の返納の流れや特典について市HPで周知した。		
評価内容	評価指標	運転免許証自主返納者数	
	R4	評価	評価理由：自動車運転免許の返納の流れや特典について市HPで周知した。
	238人	A	
	R5		今後の課題：外出や畑仕事など、地域柄日常的に車の運転が必要であるため、運転免許証の返納が進まない。
	328人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	122204	担当課室	危機管理室
事業名	高齢者安全運転支援装置設置補助事業		
事業概要	市内の高齢者を対象に、交通事故防止のため後付けによる安全運転支援装置の設置に係る費用を補助する。		
R5の取組内容	安全運転支援装置設置に係る費用補助を５件実施した。		
評価内容	評価指標	高齢者安全運転支援装置設置補助金交付者数	
	R4	評価	
	－	A	評価理由：市HP、市広報、各事業者に周知した。
	R5		今後の課題：事業は令和７年度で終了の予定
	5件		

事業No.	131101	担当課室	総務室
事業名	コミュニティ助成事業費補助金交付事業		
事業概要	コミュニティ活動の促進を図るとともに自治意識の向上を目指すため、自治総合センターのコミュニティ助成金を財源として、コミュニティ団体に補助を行う。		
R5の取組内容	明神町第２町内会の子供神輿の修繕に対して補助金を支出した。		
評価内容	評価指標	コミュニティ助成事業費補助金交付団体数	
	R4	評価	
	1団体	A	評価理由：町内会に対して計画どおり補助を行った。
	R5		今後の課題：特になし
	1団体		

事業No.	131102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	第２層協議体「西部ふれあい会」の活動支援		
事業概要	地域住民が中心となって支え合いの仕組みを検討する生活支援コーディネーターによる地区協議体「西部ふれあい会」の活動を支援する。		
R5の取組内容	ふれあい会委員主催で地域住民が興味のあるテーマ（認知症や防災など）にて講座を８回開催。 いこいセンターでの七夕飾りや書初めの展示を実施。 活動について地域住民に周知するため６中文化祭にて活動の様子を展示。		
評価内容	評価指標	「西部ふれあい会」に対する支援の回数	
	R4	評価	
	30回	A	評価理由：会の活動に対し、高齢者福祉課職員や包括職員が協力し、調整を行った。
	R5		今後の課題：会の自主性を尊重しつつ、地域包括支援センター職員と連携しながら会の活動を支援する。
	52回		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	131201	担当課室	総務室
事業名	町内会活動費等交付金交付事業		
事業概要	町内会の活動を活性化するために交付金を交付する。		
R5の取組内容	２２４町内会に対して6,,321,300円を交付した。		
評価内容	評価指標	町内会活動費等交付金額	
	R4	評価	
	6,397千円	A	評価理由：計画どおり交付金を交付した。
	R5		今後の課題：町内会の加入率の減少、高齢化に対する施策を検討する必要がある。
	6,321千円		

事業No.	131301	担当課室	高齢者福祉課
事業名	地域ケア個別会議の開催		
事業概要	市や地域包括支援センターにおいて、支援が必要な高齢者の有効な支援策を検討し、個別課題の解決を図ることを主な目的とする地域ケア個別会議を開催する。		
R5の取組内容	個別課題解決の必要があるケースや地域のネットワーク構築のための会議や自立支援・重度化防止に向けて軽度者または生活支援の援助が多いケアプラン等のケースを多職種で検討し、より良い支援やプランに生かした。		
評価内容	評価指標	地域ケア個別会議の開催回数	
	R4	評価	
	21回	A	評価理由：本人に合った目標設定が出来るよう介護予防・自立支援型の会議が実施出来た。
	R5		今後の課題：個別ケース開催から地域課題を抽出し、地域づくりの会議へ繋げていく。
	24回		

事業No.	131302（312101）	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜地域ニーズの把握＞ 実態把握事業【重複】		
事業概要	７５歳以上の独居高齢者（介護保険サービスを受けていない人）等の自宅を訪問し、要介護状態にならないよう介護予防に視点をおいた支援を行うとともに、委託型地域包括支援センターなどの相談窓口を周知する。実態把握を通し、担当圏域の地域特性や高齢者のニーズ把握をするのも目的の一つである。		
R5の取組内容	２４４人の独居高齢者宅を訪問し、聞き取り調査により生活実態を把握し、必要な支援に繋げた。		
評価内容	評価指標	独居高齢者の訪問による聞き取り件数	
	R4	評価	
	197人	A	評価理由：独居高齢者宅への訪問で丁寧に聞き取り調査を実施して、必要な支援に繋げたり、地域の特徴を考察することが出来た。
	R5		今後の課題：７５歳の年齢では働いたり運転をしている元気な高齢者が多いため、対象年齢の見直し。
	244人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	132101	担当課室	障害支援室
事業名	精神障害者ピアサポート事業の支援		
事業概要	同じような立場や境遇、経験を共有する仲間同士が支え合う事業。精神障害者のためのピアサポート事業を委託で実施。		
R5の取組内容	精神障害者ピアサポート事業を、「ＮＰＯ法人精神保健福祉を支える会ＮＥＷ」に委託して実施。		
評価内容	評価指標	ピアサポート事業延べ参加人数	
	R4	評価	
	210人	B	評価理由：ピアサポート事業実施団体に対する委託事業として実施。
	R5		今後の課題：確立された養成プログラムやガイドラインが存在しないため、専門性を担保することが難しい。
	89人		

事業№	132102	担当課室	子育て支援課
事業名	ファミリー・サポート・センター会員同士の相互援助活動の支援		
事業概要	地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、緊急時の預かり、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズに対応する「ファミリー・サポート・センター」の会員の相互援助活動を支援する。		
R5の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業を市社会福祉協議会に委託し実施。		
評価内容	評価指標	ファミリー・サポート・センターに対する支援の有無・登録会員数	
	R4	評価	
	支援無・91人	A	評価理由：市社会福祉協議会に事業運営委託で実施。市においても会員募集活動などを支援した。
	R5		今後の課題：事業開始から年数が経っていないため、引き続き円滑な実施に向けて配慮する必要がある。
	支援有・120人		

事業№	132201 (412301)	担当課室	社会福祉室
事業名	＜ボランティア連絡協議会の機能強化＞ 社会福祉協議会運営費補助【重複】		
事業概要	ボランティア連絡協議会と連携を図る社会福祉協議会に対して運営費補助金を支出することにより、ボランティア連絡協議会を間接的に支援する。		
R5の取組内容	市は、Ｒ５年度は16,646千円の補助金を交付し、社会福祉協議会の運営を支援。 社会福祉協議会は、ボランティア連絡協議会への助成金支出や福祉まつりの共催など連携を図った。		
評価内容	評価指標	社会福祉協議会運営費補助金額	
	R4	評価	
	16,011千円	B	評価理由：社会福祉協議会への補助金支出により、間接的にボランティア連絡協議会の運営を支援。また、ボランティア連絡協議会が主催する福祉まつりの開催にあたり、市担当課は企画段階から参画し、連携を図った。
	R5		今後の課題：社会福祉協議会とも連携した効果的な支援策の検討。
	16,646千円		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	211101	担当課室	障害支援室
事業名	地域生活支援促進事業（障害支援ボランティアの育成）		
事業概要	障害者等に対する地域のボランティア（支援者）の養成や活動を支援する。		
R5の取組内容	ボランティア育成の実施計画を作成し、地域との連携を模索した。		
評価内容	評価指標	障害支援ボランティアの人数	
	R4	評価	評価理由
	2人	B	令和４年度からは、ボランティアの総数は増加しているが、地域のボランティア育成が進んでいない。
	R5		今後の課題
	8人		地域のボランティアが少なく、学生ボランティアが主となっている。今後は、地域のボランティア育成が必要。

事業No.	（111202）211102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜実践を意識した福祉講座の充実を図る＞ 認知症サポーター養成講座の開催（学校や職域など）【重複】		
事業概要	地域や職域で、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成する講座を開催する。		
R5の取組内容	講座を８回開催し、２２２人のサポーターを養成した。 （小学校３回・５３人、中学校１回・１７人、大学２回・１２３人、職域２回・２９人）		
評価内容	評価指標	認知症サポーター養成講座の開催回数・受講者数	
	R4	評価	評価理由
	9回・252人	A	今年度については例年実施している講座のほか、小学校や中学校及び金融機関での開催が８回実施できたことで、幅広い年齢層が受講出来た。
	R5		今後の課題
	8回・222人		学校のキャリキュラムの中ではなく、空き時間を利用して開催することが多く、受講する小中学生が興味が持って受講できるよう内容を考える工夫が必要。

事業No.	211103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座		
事業概要	住み慣れた場所で安心して豊かに暮らせる地域づくりを目指し、受講生自身の介護予防と地域での支え合いの仕組みについて学ぶ「介護予防・地域支え合いサポーター養成講座」を開催する。		
R5の取組内容	２回１コースで実施。延べ２７名が受講し、その内１７名が新規サポーターとして登録した。		
評価内容	評価指標	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座の開催回数	
	R4	評価	評価理由
	0回	A	２日間１コースで開催。支え合いの大切さやコミュニケーションの取り方等を学ぶことが出来た。
	R5		今後の課題
	１回		家族介護教室も受講した人がいたため、教室と講座の一体化を検討する。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　　資料１－１

事業No.	211104	担当課室	保健事業室
事業名	自殺対策強化事業（ゲートキーパーの育成）		
事業概要	地域住民が身近な人の心理的危機を早期に発見し、地域の自殺対策強化を図るための人材（ゲートキーパー）を育成する。		
R5の取組内容	Ｒ6.3.1　「ゲートキーパー養成講座　～悩んでいる人への接し方～」（講師：木戸秋　明男　臨床心理士） 対象者：市職員 内容：住民の発するＳＯＳに気づき支援に繋ぐことや、市職員自身がこころの健康についての知識を得ることなど。		
評価内容	評価指標	講座参加者数	
	R4	評価	
	21人	A	評価理由：計画通り実施できた。
	R5		今後の課題：参加者が集まりやすい時期を検討し、早めに周知をしていく。
	18人		

事業No.	212101 (421302)	担当課室	危機管理室
事業名	＜リーダー研修の実施＞ 防災士の育成支援（防災ワークショップの開催）【重複】		
事業概要	防災士の資質向上を図るためのフォローアップの取組として、防災講座や防災ワークショップなどを開催する。		
R5の取組内容	千葉県防災研修センターが主催する防災セミナー「避難所開設・運営コース」が令和６年１月２７日（土）に市保健福祉センターで開催されることにあわせ、当該防災セミナーを令和５年度の防災士フォローアップ講座として位置づけ募集、実施した。		
評価内容	評価指標	防災ワークショップの開催回数・参加人数	
	R4	評価	
	1回・35人	A	評価理由：避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）演習や、能登半島地震で支援活動をした講師による、避難所開設と運営についての体験談や被災地の状況を交えた講義を受講することで防災士の資質向上を図ることができた。
	R5		今後の課題：参加者が毎回同じ方が多いので、開催日時や周知方法を工夫し、多くの防災士に参加していただくようにする必要がある。
	1回・22人		

事業No.	212102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	認知症地域支援推進員の配置と活動の推進		
事業概要	認知症施策の推進役、地域における認知症の人の医療・介護等の支援ネットワーク構築の要役となる「認知症地域支援推進員」を配置するとともに活動の推進を図る。		
R5の取組内容	基幹型と委託型地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置。 推進員が認知症施策を考える会で、認知症サポーター養成講座の周知啓発先やチームオレンジ結成に向けて協議。 アルツハイマー月間でオレンジカフェ・認知症SOSネットワークやどこシル伝言板等の認知症の取り組みを展示する時に中心的に活動。		
評価内容	評価指標	認知症地域支援推進員の人数	
	R4	評価	
	10人	A	評価理由：県主催の研修を受講し、推進員が増えた。推進員が中心となり、認知症対策事業の普及啓発を実施出来た。
	R5		今後の課題：チームオレンジ結成や認知症ケアパス改訂に向けて取り組む。
	13人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　　資料１－１

事業No.	212103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護予防・地域支え合いサポーターを対象としたフォローアップ講座		
事業概要	隣近所で「さりげない気配り」「ちょっとした目配り」をする地域づくりの応援者である「介護予防・地域支え合いサポーター」を対象としたフォローアップ講座を開催する。		
R5の取組内容	２月２８日、勤労コミュニティセンターにおいて、1日コースで1回開催し、２１人の参加者があった。 サポーターが、『新・助け合い体験ゲーム』を受講者同士で体験し、お互いに助け合う「支え合いの仕組みづくり」を考え、今後のサポーター活動に活かせる内容とした。		
評価内容	評価指標	フォローアップ講座の開催回数・参加人数	
	R4 1回・20人 R5 1回・21人	評価 A	評価理由：計画どおり講座を実施できた。 今後の課題：実際にサポーター活動につなげることが必要なため、サポーター自身ができることを地域とマッチングさせ、サポーター自ら活動ができるようにしていく必要がある。

事業No.	221101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	チームオレンジ結成に向けた準備		
事業概要	認知症サポーターがチームを編成し、認知症の人や家族に対する生活支援を行うボランティア組織の結成に向けた準備、検討を行う。		
R5の取組内容	認知症施策を考える会を開催し、地域包括支援センター職員やオレンジカフェ運営者・認知症地域支援推進員・千葉県認知症コーディネーターと結成に向けて協議。県主催のチームオレンジ報告会に参加し、他市町村の取り組みを把握。		
評価内容	評価指標	チームオレンジ結成に向けた取組の有無	
	R4 有 R5 有	評価 B	評価理由：協議・検討は行ったが、結成のめどは立っていない。 今後の課題：チームオレンジのメンバー選定や活動の具体化が必要。

事業No.	（122102） 221102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜高齢者等の社会参加＞ ふれあい交流サロン支援【重複】		
事業概要	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」を支援し、高齢者の居場所を確保するとともに、社会参加を促進する。		
R5の取組内容	５か所のふれあい交流サロンに対し、事業費を補助するとともに、サロンでの講座等の開催を支援した。		
評価内容	評価指標	ふれあい交流サロンの設置数	
	R4 5か所 R5 5か所	評価 A	評価理由：５か所合計２４４回延参加者数２，６７４人と前年度よりも増加。 今後の課題：各圏域２か所のサロン設置を目指し、参加者数を増加させる。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	221103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	シルバー人材センターの運営事業費補助		
事業概要	高齢者の能力や経験を活かした就業機会の増大を図るとともに、多様な社会参加ができるようシルバー人材センターの活動支援を行う。		
R5の取組内容	銚子市シルバー人材センターに対する運営事業費補助金を交付した。		
評価内容	評価指標	シルバー人材センター運営事業費補助の有無	
	R4	評価	
	有	A	評価理由：運営事業費補助金を交付した。
	R5		今後の課題：シルバー人材センターの会員及び受託業務が減少している。
	有		

事業No.	221201 (512101)	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜各種講座の充実＞ めざせ！元気シニア講座の開催【重複】		
事業概要	地域の誰もが参加でき、介護予防に取り組む通いの場となる「めざせ！元気シニア講座」を開催する。		
R5の取組内容	プラチナ体操を立ち上げようとしている団体に対し、地域の現状や一般介護予防の必要性、プラチナ体操の体験を行った~~う~~。		
評価内容	評価指標	めざせ！元気シニア講座の開催回数・参加人数	
	R4	評価	
	5回・71人	B	評価理由：Ｒ５年度に新規団体として4団体立ち上がっているが、以前実施していて解散となった団体等で元気シニア講座を開催した団体は２か所のみとなった。
	R5		今後の課題：プラチナ体操新規団体発足の為、プラチナ体操未活動地域に対し積極的に開催していく必要あり。
	2回・32人		

事業No.	(121504) 222101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜ボランティアコーディネート機能の充実を図る＞ 生活支援コーディネーターの配置【重複】		
事業概要	日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制のコーディネート機能を充実させる。（日常生活圏域：日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、介護サービス提供状況などを勘案して定める区域。生活支援コーディネーター：生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者。）		
R5の取組内容	第１層（市全域１名）、第２層（西部圏域１名）に生活支援コーディネーター配置済み。未配置圏域（東部・中央）は、人材の発掘・確保に努めた。		
評価内容	評価指標	生活支援コーディネーターの人数	
	R4	評価	
	2人	B	評価理由：東部・中央圏域においてはコーディネーター未配置。
	R5		今後の課題：令和６年度から、未配置圏域にコーディネーターを配置予定。
	2人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）

資料１－１

事業№	222201	担当課室	総務室
事業名	ちばボランティアナビ、ボランティア・NPOに関する出前講座（県主催）の周知		
事業概要	県主催のボランティア等関連出前講座やセミナー等を周知する。		
R5の取組内容	内容に応じてチラシ等をまちづくりサポートルームに掲示した。		
評価内容	評価指標	県主催のNPOに関する出前講座等の周知の有無	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：チラシの掲示により周知を行った。
	R5		今後の課題：より効果的な周知方法の検討。
	有		

事業№	222301（421201）	担当課室	危機管理室
事業名	＜ボランティア・NPOの活動支援＞ 自主防犯組織支援事業【重複】		
事業概要	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助し、自主防犯組織の活動を支援する。		
R5の取組内容	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助し、自主防犯組織の活動を支援した。		
評価内容	評価指標	自主防犯組織の団体数・支援の有無	
	R4	評価	
	8団体・支援有	A	評価理由：市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助した。
	R5		今後の課題：構成員の高齢化等による団体数の減少
	10団体・支援有		

事業№	222302（421202）	担当課室	危機管理室
事業名	＜ボランティア・NPOの活動支援＞ 防犯指導員連絡協議会事業費補助【重複】		
事業概要	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助し、地域の防犯体制の強化を図る。		
R5の取組内容	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。		
評価内容	評価指標	防犯指導員連絡協議会事業費補助額	
	R4	評価	
	200千円	A	評価理由：銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。
	R5		今後の課題：防犯指導員の高齢化、後継者の不足
	200千円		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　　資料１－１

<table>
<tr><td>事業№</td><td>222303</td><td>担当課室</td><td>高齢者福祉課</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">ボランティア・NPOとの連携と活動支援</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">住民が主体となり、多様なメンバーが集まり、地域で取り組む活動などを話し合う「地域支え合い推進会議」を開催する。また、ボランティア連絡協議会やNPO法人と連携し、地域における支え合い活動を推進する。</td></tr>
<tr><td>R5の
取組内容</td><td colspan="3">地域支え合い推進会議を２回開催し、地域における支え合い活動活性化に向けた協議をした。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評価内容</td><td>評価指標</td><td colspan="2">ボランティア・NPOとの連携及び活動支援の有無</td></tr>
<tr><td>R4</td><td>評価</td><td rowspan="2">評価理由</td><td rowspan="2">会議において、地域におけるお互い様の支え合いのために養成するサポーターについて検討。講座やフォローアップ・実際の活動に向けた話し合いが出来た。</td></tr>
<tr><td>無</td><td rowspan="3">A</td></tr>
<tr><td>R5</td><td rowspan="2">今後の
課　題</td><td rowspan="2">支え合いだけでなく、介護予防と一体的に継続して実施していく。</td></tr>
<tr><td>有</td></tr>
</table>

事業No.	311101	担当課室	秘書広報室
事業名	人権相談の実施		
事業概要	人権擁護委員１１名で年１２回(月1回)の人権特設相談を設置。		
R5の取組内容	毎月第２水曜日に特設相談を設置し、市民の人権相談に乗っている。		
評価内容	評価指標	人権相談件数	
	R4	評価	
	0件	B	評価理由：昨年より増加にあるが、相談件数としては少ない印象。
	R5		今後の課題：ホームページ、広報紙以外にも周知する必要がある。他部署等にも協力いただき人権問題に悩んでいる方が相談しやすい環境を整える必要がある。
	２件		

事業No.	311102（423101）	担当課室	社会福祉室
事業名	＜相談窓口の整備＞ 生活困窮者自立支援事業「ちょうしサポートセンター」の運営委託【重複】		
事業概要	生活困窮、長期失業、家族のひきこもり、就労経験不足など心、家庭、健康上などの問題に対し、相談、課題評価・分析、支援計画作成、自立支援を行う窓口の整備。		
R5の取組内容	生活困窮者自立支援業務をNPO法人SSSに委託（「ちょうしサポートセンターの運営」）。		
評価内容	評価指標	生活困窮者自立支援相談件数	
	R4	評価	
	152件	B	評価理由：「ちょうしサポートセンターの運営」を委託事業として実施。
	R5		今後の課題：生活困窮者自立支援制度として、現在実施している「自立相談支援事業」に加え、任意事業で未実施である「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」の一体的実施を目指す。
	120件		

事業No.	311103	担当課室	社会福祉室
事業名	民生委員・児童委員の活動支援		
事業概要	地域住民の身近な相談者である民生委員・児童委員がスムーズに活動できるよう環境整備など支援を行う。		
R5の取組内容	市費により委員報酬を支給。また、民生委員児童委員協議会に対し、県補助金を財源として運営費補助金を交付した。 また、必要がある場合、担当課職員が協議会理事会などの会議に参加した。		
評価内容	評価指標	民生委員・児童委員に対する支援の有無	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：報酬・補助金の支出及び各種会議への参加を継続して実施した。
	R5		今後の課題：民生委員・児童委員のなり手不足も問題化しており、委員の後任者選出を協議会任せにすることなく、市においても人材発掘に努める。
	有		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	311104	担当課室	障害支援室
事業名	基幹相談支援センターの運営		
事業概要	地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、身体障害者、知的障害者及び精神障害者などの相談支援に関する業務を総合的、専門的に行うほか、権利擁護や虐待防止のために必要な援助を行う「銚子市障害者基幹相談支援センター」を運営する。		
R5の取組内容	身体障害者、知的障害者及び精神障害者などの相談支援に関する業務を実施。		
評価内容	評価指標	基幹相談支援センターにおける相談件数	
	R4	評価	評価理由
	5,517件	B	相談支援業務を実施しているが、年々相談件数の増加だけでなく内容も複雑多様化しており、センター職員の人員配置の充実が求められる。
	R5		今後の課題
	5,511件		人員配置の充実・強化。

事業№	311105	担当課室	障害支援室
事業名	地域活動支援センターの運営委託		
事業概要	障害者が自宅から通い、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動の機会を提供する「地域活動支援センター」を運営する。		
R5の取組内容	地域活動支援センターⅠ型をＮＰＯ法人精神保健福祉を支える会NEWに、地域活動支援センターⅡ型をＮＰＯ法人スマイル銚子に運営委託。		
評価内容	評価指標	地域活動支援センターの委託か所数	
	R4	評価	評価理由
	1か所	A	令和５年４月から地域活動支援センターⅡ型１か所を新たに開設（委託）し、２か所体制となった。
	R5		今後の課題
	２か所		受託事業者の安定的な事業運営の継続。

事業№	311106	担当課室	障害支援室
事業名	まるっとシステム（地域生活支援拠点等事業）		
事業概要	障害者の高齢化・重度化や、「親亡き後」を見据えて、住み慣れた地域で安心して生活を続けるための仕組み。 （緊急事態対応の相談、対応（一時的な受け入れの調整・支援の手配）、体験の機会（グループホームなどの体験利用）、専門的人材の確保・養成）		
R5の取組内容	まるっとシステム（地域生活支援拠点等事業）をＮＰＯ法人あおぞらに委託。		
評価内容	評価指標	まるっとシステムの利用登録者数	
	R4	評価	評価理由
	5人	A	事業を継続して実施した。
	R5		今後の課題
	24人		事業を周知し、利用登録者の増加を目指す。 登録者の把握と、必要な支援調整をすすめする。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	311107	担当課室	子育て支援課
事業名	私立地域子育て支援センター運営費補助		
事業概要	子育て相談等に対応するため、地域子育て支援センターの運営費に対し、補助金を交付し支援をする。		
R5の取組内容	私立保育園の実施する地域子育て支援センター４か所に対し、補助金の交付を行った。 （マンマ子育て支援センター・ひまわり子育て支援センター・えがお子育て支援センター・聖母マリア子育て支援センター）		
評価内容	評価指標	私立地域子育て支援センターの設置数	
	R4 4か所	評価 A	評価理由：子育て中の親子に遊び場の提供と育児相談等の支援を実施する地域子育て支援センター４か所に対し、補助金の交付を行った。
	R5 4か所		今後の課題：引続き、円滑な制度の運用を図る。

事業No.	311108	担当課室	高齢者福祉課
事業名	基幹型・委託型地域包括支援センターの設置、運営		
事業概要	包括的・継続的な支援を行う地域包括ケアを実現するための中心的役割を担う機関である「地域包括支援センター」を設置し、運営する。		
R5の取組内容	４月基幹型地域包括支援センター事業を提示の上、委託型地域包括支援センターごとに事業計画を作成、提出。 １０月計画進捗確認を基幹型及び委託型で実施。 １月委託型地域包括支援センターの業務評価と業務点検を実施。		
評価内容	評価指標	基幹型・委託型地域包括支援センターの設置数	
	R4 4か所	評価 A	評価理由：地域包括支援センター業務の質の向上、公正中立性が確保できるよう、自己評価と行政評価を合わせ業務点検を実施した。
	R5 4か所		今後の課題：業務チェックシートの見直し。

事業No.	311109	担当課室	高齢者福祉課
事業名	在宅医療・介護連携支援センターの設置、運営		
事業概要	地域の在宅医療・介護連携についての相談窓口を担う「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、運営する。		
R5の取組内容	医療介護推進事業の実施（医療介護連携シートの活用及び評価、医療介護連携ハンドブックの改訂について検討、通いの場ハンドブックや居宅介護支援事業所情報冊子の作成、医療と介護をつなぐ研修会の開催、介護支援専門員等からの相談対応）		
評価内容	評価指標	在宅医療・介護連携支援センターの設置数	
	R4 1か所	評価 A	評価理由：関係機関と連携を図りながら実施することができた。
	R5 1か所		今後の課題：情報の収集、既存資料の改定、連携方法の検討など、介護支援専門員等の日々の活動に活かせるようにしていく必要あり。またセンターへの相談時に対応できるようにしていく。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	311110	担当課室	保健事業室
事業名	子育て世代包括支援センター「すくサポ」・子ども家庭総合支援拠点における相談事業		
事業概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々な相談や切れ目のない支援を行う、子育て世代包括支援センター「すくサポ」と、18 歳未満のすべての子どもとその家庭及び妊産婦等からの様々な心配事についての相談・支援に応じる「子ども家庭総合支援拠点」を運営する。		
R5の取組内容	各種母子保健事業による対応、子育てコンシェルジュによる個別相談支援や保育所との連携。 特定妊婦や養育困難・虐待に対する個別対応や支援会議の開催。 その他、支援が必要なケースに対する対応。		

評価内容				
評価指標	「すくサポ」相談件数・「子ども家庭総合支援拠点」相談件数			
R4	評価	評価理由	随時相談対応をしていくことができた。	
588件・1,160件	A			
R5		今後の課題	今後も随時必要な対応ができるようにしていく。	
529件・1,136件				

事業№	31111	担当課室	保健事業室
事業名	各種相談事業（健康づくり相談、こころの健康相談、乳幼児健康相談）		
事業概要	各種相談事業（健康づくり相談、こころの健康相談、乳幼児健康相談）を実施する。		
R5の取組内容	健康づくり相談：21件実施。個々の健康問題や疑問に沿った個別性の高い健康相談を実施した。 こころの健康相談：毎月第2火曜日午後に臨床心理士による相談を実施。多職種と連携し支援を実施した。 乳幼児健康相談：毎月第3木曜日午後実施。乳幼児健康診査後の事後フォローや、保護者の育児上の問題解決を行った。		

評価内容				
評価指標	健康づくり相談件数・こころの健康相談件数・乳幼児健康相談件数			
R4	評価	評価理由	事業それぞれのニーズや対象者に応じた相談事業を実施できた。	
8件・22件・80件	A			
R5		今後の課題	こころの健康相談：件数が減少してきているため、相談の周知を行い必要としている方が利用できるように支援する。 乳幼児健康相談：新規利用者確保のため、引き続き広報や各健診にて周知を行う。	
21件・11件・87件				

事業№	311112	担当課室	産業振興室
事業名	地域サポートステーション（サポステ）による相談会の開催		
事業概要	就労支援相談員による出張相談		
R5の取組内容	NPO法人が定期的に行う「地域若者サポートステーション事業」による相談会の開催を支援した。		

評価内容				
評価指標	地域サポートステーション（サポステ）による相談会の開催回数			
R4	評価	評価理由	年始休みを除き、毎月２回の定期開催を行った。	
22回	A			
R5		今後の課題	引き続き、適正な支援を実施する。	
23回				

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	311113	担当課室	産業振興室
事業名	中小企業相談所（銚子商工会議所）の運営支援		
事業概要	中小企業に対して経営改善等を支援する「中小企業相談所」（銚子商工会議所）の活動を支援することで、市内商工業の振興及び地域の総合的な発展を図る。		
R5の取組内容	中小企業相談所事業費補助金を交付し、市内中小企業の経営改善に係る取組を支援する。		
評価内容	評価指標	中小企業相談所に対する支援の有無	
	R4	A	評価理由：銚子市中小企業相談所事業費補助金 令和5年度交付額 3,600,000円
	有		
	R5		今後の課題：引き続き、適正な支援を実施する。
	有		

事業No.	311114（422201）	担当課室	消費生活センター
事業名	＜相談窓口の整備＞ 消費生活センターの運営【重複】		
事業概要	消費生活相談員による消費生活相談		
R5の取組内容	消費生活に関する相談業務及び苦情等への適正かつ迅速な対応と処理		
評価内容	評価指標	消費生活センター相談件数	
	R4	評価	評価理由：相談件数の増加。 適正かつ迅速な対応と処理の遂行。
	536件	A	
	R5		今後の課題：引き続き、適正かつ迅速な対応と処理を実行する。
	576件		

事業No.	311201	担当課室	社会福祉室
事業名	複合的な課題に対応できる相談支援体制の検討整備		
事業概要	相談支援において、各分野に固定することなく、「福祉」という包括的な枠組みで捉え、総合的な情報提供や相談体制を構築する。		
R5の取組内容	令和６年１月１７日、庁内関係課で組織する「地域福祉推進幹事会」を開催。		
評価内容	評価指標	複合的な課題に対応できる相談支援体制の検討の有無	
	R4	評価	評価理由：会議を１回開催したものの、「複合的相談支援体制」の検討は行えなかった。
	有	C	
	R5		今後の課題：地域福祉推進幹事会での検討を行うとともに、行政だけではなく、市民や関係機関を巻き込みながら複合的相談支援体制の検討・構築する必要がある。
	無		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	（131302） 312101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜訪問型の支援活動の推進＞ 実態把握事業【重複】		
事業概要	７５歳以上の独居高齢者（介護保険サービスを受けていない人）等の自宅を訪問し、要介護状態にならないよう介護予防を視点においた支援を行うとともに、委託型地域包括支援センターなどの相談窓口を周知する。実態把握を通し、担当圏域の地域特性や高齢者のニーズ把握をするのも目的の一つである。		
R5の取組内容	２４４人の独居高齢者宅を訪問し、聞き取り調査により生活実態を把握し、必要な支援に繋げた。		

評価内容				
	評価指標	独居高齢者の訪問による聞き取り件数		
	R4	評価	評価理由	独居高齢者宅への訪問で丁寧に聞き取り調査を実施して、必要な支援に繋げたり、地域の特徴を考察することが出来た。
	197人	A		
	R5		今後の課題	７５歳の年齢では働いたり運転をしている元気な高齢者が多いため、対象年齢の見直し。
	244人			

事業No.	312201 （412101）	担当課室	社会福祉室
事業名	＜制度のはざまの課題への対応＞ 地域福祉推進幹事会の取組強化【重複】		
事業概要	社会福祉、子育て、高齢者、健康、保健、医療、教育、防災、環境、市民活動など各分野をまたぐ問題や、そのはざまにある問題について、庁内関係課で組織する「地域福祉推進幹事会」で検討、解決すべく取り組む。		
R5の取組内容	令和６年１月１７日地域福祉推進幹事会開催。 （主な議題：地域福祉計画の進捗状況確認のための評価指標の検討）		

評価内容				
	評価指標	地域福祉推進幹事会の開催回数		
	R4	評価	評価理由	会議を１回開催したものの、具体的な「制度のはざま問題」の検討は行えなかった。
	２回	C		
	R5		今後の課題	会議開催回数を増やすなど関係各課の連携を密にし、「制度のはざま問題」を抽出し、具体的な解決策の検討・実施に向け取り組む。
	１回			

事業No.	321101	担当課室	社会福祉室
事業名	地域福祉推進協議会の設置検討		
事業概要	地域福祉の推進を目的の一つとした「地域福祉推進協議会」の設置を検討する。		
R5の取組内容	R5.3　銚子市附属機関の設置等に関する条例に「銚子市地域福祉推進協議会」を規定。 R5.11.7　第1回「銚子市地域福祉推進協議会」を開催。 R6.2.　　第2回　　〃		

評価内容				
	評価指標	地域福祉推進協議会の設置の有無（開催回数）		
	R4	評価	評価理由	「銚子市地域福祉推進協議会」設置済。
	－	A		
	R5		今後の課題	協議会会議における地域福祉推進に関する課題の抽出・深掘り。
	設置 （２回）			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　　資料１－１

事業No.	321102	担当課室	社会福祉室
事業名	自立相談支援調整会議の開催		
事業概要	関係機関のネットワークを構築し、生活困窮者に対する自立の支援を図るために必要な情報の交換を行うとともに、生活困窮者が地域において日常生活及び社会生活を営むのに必要な支援体制に関する検討を行う会議の開催。		
R5の取組内容	生活困窮者自立支援業務の受託者であるNPO法人SSSが主となり、ハローワーク、社会福祉協議会、精神科医療機関（銚子こころクリニック）、市社会福祉課（生活困窮者自立支援担当・生活保護担当）で構成する「自立支援調整会議」を１２回開催した。		
評価内容	評価指標	自立相談支援調整会議の開催回数	
	R4	評価	評価理由
	12回	A	関係機関のネットワークを構築し、月１回ペースで定期的に会議を開催している。
	R5		今後の課題
	12回		必要な場合、さらに広い分野の関係機関との連携を検討する。

事業No.	321103	担当課室	障害支援室
事業名	銚子市地域自立支援協議会の運営		
事業概要	関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う「銚子市地域自立支援協議会」の運営。		
R5の取組内容	令和５年　６月　５日：第１回会議（令和４年度活動報告、第７期障害福祉計画等の策定についてなど） 令和５年１２月　５日：第２回会議（第７期障害福祉計画等の策定についてなど） 令和６年　２月１５日：第３回会議（第７期障害福祉計画等パブリックコメント結果、専門部会についてなど）		
評価内容	評価指標	銚子市地域自立支援協議会の開催回数	
	R4	評価	評価理由
	1回	B	令和５年度においては、障害福祉計画等の策定があったため、年度内３回の会議を開催。
	R5		今後の課題
	3回		協議会会議における障害者支援体制などに関する課題の抽出・深掘り。 専門部会の再開にて各分野ごとの課題や支援の充実体制の検討を進める

事業No.	321201	担当課室	高齢者福祉課
事業名	地域包括ケアシステム推進会議（地域ケア推進会議）の開催		
事業概要	地域包括ケアシステムを構築するため、保健、医療、福祉等の関係者が連携し、地域の課題についての情報交換や話合いなどを行う「地域ケア推進会議」を開催する。		
R5の取組内容	介護保険事業等運営協議会、地域支え合い推進会議、医療介護専門部会、認知症を考える会など地域包括ケア推進を目的に各種会議を開催した。		
評価内容	評価指標	地域包括ケアシステム推進会議（地域ケア推進会議）の開催回数	
	R4	評価	評価理由
	14回	A	年間計画に従い、開催することが出来た。
	R5		今後の課題
	14回		地域の支え合いを推進するためには、介護予防の視点も併せ取組む必要性があるため、専門部会を統合することとした。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	321301	担当課室	総務室
事業名	町内青年館整備費補助金交付事業		
事業概要	町内青年館の修繕等に対して補助金を支出する。		
R5の取組内容	松岸町青年館修繕事業に対して補助を行った。		
評価内容	評価指標	町内青年館整備費補助金交付件数	
	R4	評価	
	2件	A	評価理由：修繕相談の状況を勘案しながら、修繕事業を実施した。
	R5		今後の課題：特になし。
	1件		

事業№	321302	担当課室	総務室
事業名	まちづくりサポートルーム事業		
事業概要	市民活動団体が集会等を行うためのまちづくりサポートルームの貸出・維持管理を行う。		
R5の取組内容	地域おこし協力隊外2団体に貸出しを行ったが、地域おこし協力隊の使用頻度が高く、回数が大幅に増加した。		
評価内容	評価指標	まちづくりサポートルーム貸出団体数・貸出回数	
	R4	評価	
	3団体・20回	B	評価理由：貸出回数は増加したが団体数は伸びなかった。
	R5		今後の課題：サポートルームの使用しやすい環境整備やソフト面での充実。
	3団体・165回		

事業№	321303	担当課室	市民センター
事業名	公民館施設の貸出		
事業概要	児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設である公民館としての責務を果たし、市民のために生涯学習の機会と場所を提供する。		
R5の取組内容	新型コロナウイルス感染防止対策が５類に移行したことにより、サークル及び団体による施設の利用制限を解除した。		
評価内容	評価指標	公民館施設の貸出回数	
	R4	評価	
	1,776	B	評価理由：貸出回数が増加した。
	R5		今後の課題：現在利用しているサークル及び団体の高齢化に伴う解散により、徐々に貸し出し回数が減少していくものと予想される。このため、社会教育法の規定の範囲内において、より幅広い層の利用促進を図っていく必要がある。
	1,791		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	331101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、利用者一人ひとりについて、様々な職種が連携し、個々の高齢者の状況やその変化に応じて継続的に支援していく。		
R5の取組内容	ケアマネジャーが中心となり、サービス事業者を含む支援チーム全体で包括的継続的なケアマネジメントが実践出来るよう、「環境面を整備する支援」と「介護支援専門員等に対する個別支援」の二つの面から支援を行った。		
評価内容	評価指標	包括的・継続的ケアマネジメント対応件数	
	R4	評価	評価理由：地域包括支援センターで個別支援を実施。環境整備として地域ケア実務者会議を開催し、スキルアップと関係機関との連携強化を実施出来た。
	995件	A	
	R5		今後の課題：引き続き、環境整備と個別支援の双方を実施していく。
	1,007件		

事業№	332101	担当課室	社会福祉室
事業名	第三者委員制度の周知		
事業概要	社会福祉事業経営者における利用者からの苦情解決の仕組みの一つとして、事業所との関係が第三者的な立場にある苦情受付担当を配置する「第三者委員」制度を周知する。		
R5の取組内容	取組なし。		
評価内容	評価指標	第三者委員制度の周知の有無	
	R4	評価	評価理由：取組が行われていない。
	無	C	
	R5		今後の課題：社会福祉法人監査の実地検査の際に、制度周知を行うほか、周知方法を検討する。
	無		

事業№	332102	担当課室	子育て支援課
事業名	福祉サービスに対する苦情の解決制度の実施		
事業概要	公立保育所における、利用者等の苦情に対し適切な対応を図り、利用者の利益保護及び信頼の確保を図る。		
R5の取組内容	苦情等はあったものの、福祉サービス苦情解決第三者委員への報告を希望する案件は無かった。 研修会に2回参加した。		
評価内容	評価指標	福祉サービスに対する苦情申出件数	
	R4	評価	評価理由：各保育所において、苦情に対する対応ができた。
	11件	A	
	R5		今後の課題：引続き、円滑な制度の運用を図る。
	13件		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	332103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	地域包括ケアシステム推進会議での業務評価・業務点検		
事業概要	地域包括ケアシステム推進会議において委託型地域包括支援センターなどの業務評価・業務点検を行う。		
R5の取組内容	２月開催の地域包括ケアシステム推進会議にて、委託型地域包括支援センターの業務評価・点検結果を報告した。		
評価内容	評価指標	地域包括ケアシステム推進会議での業務評価・業務点検の実施の有無	
	R4	評価	評価理由
	有	B	各委託型地域包括支援センターで業務チェックシートのチェック項目について自己評価を行い、それについて行政評価を実施した。
	R5		今後の課題
	有		業務チェックシートの見直し。

事業No.	332201	担当課室	社会福祉室
事業名	生活保護のしおりの配布		
事業概要	生活保護制度の周知のため、制度概要を記載した「生活保護のしおり」を配布する。		
R5の取組内容	担当課窓口を訪問した相談者及び新規保護開始世帯などに「生活保護のしおり」を配布した。		
評価内容	評価指標	生活保護のしおりの配布の有無	
	R4	評価	評価理由
	有	A	従前から引き続き担当課窓口を訪問者した相談者及び新規保護開始世帯などに配付。
	R5		今後の課題
	有		引き続き配布。 制度改正に合わせて、必要に応じて内容を改定する。

事業No.	332202 （411101）（411201）	担当課室	障害支援室
事業名	＜サービスの情報提供＞ 障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布【重複】		
事業概要	障害者福祉に関する制度やサービスなどを掲載した「障害者福祉ガイドブック」を作成、配布・市HPに掲載。 障害福祉サービス事業所や相談窓口などの所在地などをまとめた「障害福祉地域資源マップ」を市HPに掲載。		
R5の取組内容	「障害者福祉ガイドブック」の令和５年４月版を作成・配布・市HPへの掲載。 「地域資源マップ」（令和４年４月作成）を市HPにも掲載。		
評価内容	評価指標	障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布の有無	
	R4	評価	評価理由
	有	B	「障害者福祉ガイドブック」は、主として身体障害者手帳等の新規取得者に対して配付。
	R5		今後の課題
	有		「障害者福祉ガイドブック」は、制度改正などに応じて最新の情報に更新していく。 「地域資源マップ」の改訂版作成の検討。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	332203	担当課室	高齢者福祉課
事業名	ちょーぴーのやさしさ便利帳の配布		
事業概要	高齢者が元気に安心して生活が送れるように、日常生活での困りごとに役立つ情報を掲載した「ちょーぴーのやさしさ便利帳」を配布する。		
R5の取組内容	東部、中央、西部地域包括支援センター、高齢者福祉課で、便利帳の配布を行った。		
評価内容	評価指標	ちょーぴーのやさしさ便利帳の配布部数	
	R4	評価	
	1,460部	A	評価理由：各施設に配置し、住民に配布できた。
	R5		今後の課題：便利帳は、２年更新となっている。来年度は、第４版を作成予定であるため、見直しをしていく。
	2,865部		

事業No.	332301	担当課室	秘書広報室
事業名	点字版広報紙の作成配布		
事業概要	広報ちょうしの点訳		
R5の取組内容	広報紙を点字版の内容に取捨選択し、委託業者へ提供している。		
評価内容	評価指標	点字版広報紙の配布件数	
	R4	評価	
	11件／月	A	評価理由：契約通りに点字版広報紙の作成、郵送をしている。
	R5		今後の課題：月１１件に配っているが、その他に必要としている人にも届けられるようにする必要がある。
	11件／月		

事業No.	332302	担当課室	秘書広報室
事業名	市ホームページの機能追加（音声読上げ・文字拡大・配色調整）		
事業概要	ホームページの機能を追加し、誰もが使いやすいホームページを心掛ける。		
R5の取組内容	４月より市ホームページをリニューアル。スマートフォン対応、音声読み上げ機能を追加した。		
評価内容	評価指標	市ホームページの機能追加の有無	
	R4	評価	
	有	A	評価理由：市ホームページのリニューアルに伴い、音声読上げ・文字拡大・配色調整を簡単にできるようになった。
	R5		今後の課題：今後も市民の声を聴き、使いやすいホームページの運営に努める。
	有		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	411101 （332202）（411201）	担当課室	障害支援室
事業名	＜福祉関連施設・拠点の周知＞ 障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布【重複】		
事業概要	令和４年４月、銚子市地域自立支援協議会が、障害福祉サービス事業所や相談窓口などの所在地などをまとめた「銚子市障害福祉地域資源マップ」を作成。　関係団体に配布するとともに市HPに掲載。		
R5の取組内容	市HPに掲載中。		
評価内容	評価指標	障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布の有無	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：「地域資源マップ」は令和４年４月に作成。その後の改定は行っていない。
	R5		今後の課題：最新情報に更新した改訂版の作成検討を自立支援協議会の専門部会ではかる。
	有		

事業No.	411102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	居宅介護支援・サービス事業者一覧の配布		
事業概要	市内の居宅介護支援等の介護サービス事業者の一覧表を作成し、配布する。		
R5の取組内容	事業所の新設・廃止があるごとに、一覧表を更新した（Ｒ５は５,６,８,９,１０,１２,１,３月の８回）。		
評価内容	評価指標	居宅介護支援・サービス事業者一覧の配布の有無	
	R4	評価	
	有	A	評価理由：計画どおり一覧表を配布できた。
	R5		今後の課題：休止事業所の掲載の取扱いなどを精査する。
	有		

事業No.	411201 （332202）（411101）	担当課室	障害支援室
事業名	＜福祉関連サービスの周知＞ 障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布【重複】		
事業概要	障害者福祉に関する制度やサービスなどを掲載した「障害者福祉ガイドブック」を作成、配布・市HPに掲載。 障害福祉サービス事業所や相談窓口などの所在地などをまとめた「障害福祉地域資源マップ」を市HPに掲載。		
R5の取組内容	「障害者福祉ガイドブック」の令和５年４月版を作成・配布・市HPへの掲載。 「地域資源マップ」（令和４年４月作成）を市HPにも掲載。		
評価内容	評価指標	障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布の有無	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：「障害者福祉ガイドブック」は、主として身体障害者手帳等の新規取得者に対して配付。
	R5		今後の課題：「障害者福祉ガイドブック」は、制度改正などに応じて最新の情報に更新していく。 「地域資源マップ」の改訂版作成の検討。
	有		

事業№	411202	担当課室	子育て支援課
事業名	子育てハンドブックの配布		
事業概要	本市の子育て支援の具体的施策として、子育てに関する支援制度や相談支援機関等に関する情報を掲載した「銚子市子育てハンドブック」を作成し配布する。		
R5の取組内容	令和4年3月に発行、３年ごとの発行のため令和5年度の作成はなかったが母子手帳発行時等必要に応じて配布した。		
評価内容	評価指標	子育てハンドブックの配布の有無	
	R4	評価	評価理由：銚子市公式ＬＩＮＥを利用し、各種給付均等の情報を発信し、周知を図った。
	有	A	
	R5		今後の課題：広告収入で作成費を賄うため、協力者の確保が必要となる。
	有		

事業№	411203	担当課室	子育て支援課
事業名	子育て支援に関する情報のSNSによる発信		
事業概要	LINEを利用して子育て支援に関する情報を発信する。		
R5の取組内容	各種給付金、子ども医療費助成等の案内、保育料・放課後児童クラブ使用料口座振替のお知らせを発信した。		
評価内容	評価指標	子育て支援に関する情報のSNSによる発信の有無	
	R4	評価	評価理由：各種給付金等のご案内をした。
	有	A	
	R5		今後の課題：子育て支援に関する健康づくり課と子育て支援課の業務の区別が市民には分かりにくい。
	有		

事業№	411204	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護保険パンフレットの配布		
事業概要	介護認定申請の新規申請者等に制度内容を説明するためのパンフレットを作成し、市役所の窓口や地域包括支援センターで配布する。		
R5の取組内容	令和５年５月　安心介護保険パンフレットを作成し、以降配布を行った。		
評価内容	評価指標	安心介護保険パンフレットの配布の有無	
	R4	評価	評価理由：安心介護保険パンフレットの配布を行った。
	有	A	
	R5		今後の課題：制度改正などに応じた最新の掲載情報に更新していく。
	有		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	411301	担当課室	障害支援室
事業名	児童発達支援センターの指定管理		
事業概要	児童発達支援を行うほか、地域の障害児やその家族への相談、障害児を預かる家族への援助・助言を合わせて行う地域の中核的な療育支援施設である「児童発達支援センターわかば」について、指定管理委託により運営する。		
R5の取組内容	ＮＰＯ法人あおぞらに児童発達支援センターわかばの運営を指定管理委託した。		
評価内容	評価指標	児童発達支援センターの指定管理委託の有無	
	R4	評価	
	有	A	評価理由：指定管理委託を実施。施設の運営に関し、指定管理者と市が連携を密にした。また、指定管理料の削減も進んでいる。
	R5		今後の課題：運営の安定化を図り、収支状況の改善（指定管理委託料の減少）を支援する。
	有		

事業No.	411302	担当課室	高齢者福祉課
事業名	てうしケアマネクラブとの連携		
事業概要	市内の介護支援専門員を中心とした会員で組織した一「てうしケアマネクラブ」の活動との連携を図る。		
R5の取組内容	てうしケアマネクラブの役員を中心に、組織の体制見直しを実施したため、その検討会に出席して助言した。		
評価内容	評価指標	てうしケアマネクラブとの連携の有無	
	R4	評価	
	有	A	評価理由：組織体制見直しの検討会に出席した。また、てうしケアマネクラブ主催の研修会の企画に対し助言・支援を行った。
	R5		今後の課題：てうしケアマネクラブの活動と地域包括支援センターの活動を連携していく。
	有		

事業No.	（312201）412101	担当課室	社会福祉室
事業名	＜全庁的な体制整備＞ 地域福祉推進幹事会の取組強化【重複】		
事業概要	社会福祉、子育て、高齢者、健康、保健、医療、教育、防災、環境、市民活動など各分野の問題・課題について、庁内関係課で「地域福祉推進幹事会」を組織し、包括的に対応する体制を整える。		
R5の取組内容	令和６年１月１７日、地域福祉推進幹事会開催。 （主な議題：地域福祉計画の進捗状況確認のための評価指標の検討） 参加関係課：社会福祉協議会・総務室・危機管理室・社会福祉課・子育て支援課・高齢者福祉課・健康づくり課		
評価内容	評価指標	地域福祉推進幹事会の開催回数	
	R4	評価	
	２回	B	評価理由：全庁的な体制として地域福祉推進幹事会が組織され、会議を開催したが、さらなる取組の充実が必要である。
	R5		今後の課題：具体的な問題・課題の議論・検討が未実施であるため、その過程の詳細が未確定である。
	１回		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	412102	担当課室	障害支援室
事業名	障害者優先調達推進法に基づく物品等調達の取組		
事業概要	「障害者優先調達推進法」の規定に基づき、障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図る。		
R5の取組内容	令和５年４月１日付けで「令和５年度銚子市障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針」を策定。 令和５年度において、市の調達実績は3件。		
評価内容	評価指標	障害者優先調達推進法に基づく物品等調達の件数	
	R4	評価	
	2件	B	評価理由：市の全組織を対象とした「方針」に従い取り組んでいるが、需給バランスが悪く、調達実績が増えない。
	R5		今後の課題：全庁的に制度の周知を徹底する。
	3件		

事業№	412201	担当課室	社会福祉室
事業名	民生委員・児童委員協議会の運営費等補助		
事業概要	民生委員・児童委員の活動を間接的に支援するため、民生委員・児童委員協議会に対し運営費を補助する。		
R5の取組内容	県補助金を財源として運営費補助金を交付した。		
評価内容	評価指標	民生委員・児童委員協議会運営費等補助金額	
	R4	評価	
	955千円	A	評価理由：運営費補助金を交付した。
	R5		今後の課題：協議会の財政状況を踏まえて補助金を継続して支出。
	1,038千円		

事業№	（132201） 412301	担当課室	社会福祉室
事業名	＜地域福祉活動のための財源の確保＞ 社会福祉協議会運営費補助【重複】		
事業概要	運営費補助金を交付することにより、社会福祉協議会が行う地域福祉活動の推進を財政的に支援する。		
R5の取組内容	市は、R5年度は16,646千円の補助金を交付し、社会福祉協議会の運営を支援。		
評価内容	評価指標	社会福祉協議会運営費補助金額	
	R4	評価	
	16,011千円	A	評価理由：補助金の支出により、社会福祉協議会の運営を支援。 補助先の人件費の増加に伴い補助金額も増加。
	R5		今後の課題：市からの財政支援とともに、社会福祉協議会の自主財源の増加（市補助金の減少）の取組を促す。
	16,646千円		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　　資料１－１

事業№	421101	担当課室	危機管理室
事業名	防災・避難訓練の実施		
事業概要	地域住民や防災関係機関等と連携し、防災・避難訓練を実施することで、避難体制の強化や防災意識の高揚を図る。		
R5の取組内容	R5.5.14名洗町津波避難訓練、R5.7.2土砂災害避難訓練(千葉県共催）、R5.8.11銚子マリーナ海水浴場津波避難訓練、R5.11.19名洗町津波避難訓練、R5.12.10炊き出し訓練、R5.12.17愛宕町連合町内会・和田町町内会合同防災訓練		
評価内容	評価指標	防災・避難訓練の実施回数	
	R4	評価	
	4回	A	評価理由：地域住民や防災関係機関等と連携し、防災・避難訓練を実施した。
	R5		今後の課題：訓練の内容を多様化し、より実践的かつ効果的なものにしていく必要がある。
	6回		

事業№	421102	担当課室	危機管理室
事業名	福祉避難所の充実		
事業概要	社会福祉施設等と福祉避難所に係る協定を締結し、福祉避難所の増設・充実を図る。		
R5の取組内容	新たな福祉避難所の設置（協定締結）はなかった。		
評価内容	評価指標	福祉避難所（協定）の数	
	R4	評価	
	17か所	C	評価理由：令和５年度においては、新たな福祉避難所の設置（協定締結）はなかった。
	R5		今後の課題：福祉避難所の受け入れ態勢が整っていない。
	17か所		

事業№	421103	担当課室	危機管理室
事業名	ホテル・旅館の避難所利用		
事業概要	ホテル・旅館の避難所利用について、協定を締結することにより、高齢者など避難生活、環境において特に配慮を要する方々の受け入れを可能とし、安心で安全な避難生活を確保する。		
R5の取組内容	銚子市旅館ホテル組合、ルートインジャパン(株)と災害時における避難所の施設利用等に関する協定を締結済み。		
評価内容	評価指標	ホテル・旅館の避難所利用協定の数	
	R4	評価	
	2件	A	評価理由：銚子市旅館ホテル組合、ルートインジャパン(株)と災害時における避難所の施設利用等に関する協定を締結済み。
	R5		今後の課題：各ホテル等と適切な情報伝達手段や意思疎通の仕組みを確立し、円滑なコミュニケーションを図っていくこと。
	2件		

事業№	421104	担当課室	危機管理室
事業名	要配慮者利用施設における避難確保計画作成支援		
事業概要	地域防災計画に位置付けられている要配慮者利用施設について避難確保計画の作成支援を行い、避難訓練等の実施を推進する。		
R5の取組内容	地域防災計画に位置付けられている全ての要配慮者利用施設において避難確保計画を作成済み。		

評価内容				
評価指標	要配慮者利用施設における避難確保計画数			
R4	評価	評価理由	地域防災計画に位置付けられている全ての要配慮者利用施設において避難確保計画を作成済み。
8件	A		
R5		今後の課題	地域防災計画の修正にあわせ、新たに位置づけられた要配慮者施設においても避難確保計画を作成する。
8件			

事業№	421105	担当課室	危機管理室
事業名	文字表示型防災ラジオの配布		
事業概要	聴覚障害のある方（世帯）に、文字表示型防災ラジオを有償配布する。		
R5の取組内容	広報やLINEを活用し、周知を実施した。また、障害支援室に依頼し、身体障害者手帳（聴覚）を交付された方に、文字表示型防災ラジオ等のチラシを配付も行っている。		

評価内容				
評価指標	文字表示型防災ラジオの配布数			
R4	評価	評価理由	障害支援室に依頼し、身体障害者手帳（聴覚）を交付された方に、文字表示型防災ラジオ等のチラシを配付し、文字表示型防災ラジオの周知を行った。
4台	B		
R5		今後の課題	継続して、周知を行っていく。
1台			

事業№	421106 （431101）	担当課室	危機管理室 （障害支援室・高齢者福祉課）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 避難行動要支援者名簿の作成【重複】		
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。		
R5の取組内容	作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。		

評価内容				
評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数			
R4	評価	評価理由	作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。
543人	A		
R5		今後の課題	関係機関および関係者との共有と連携を今後も行っていく。また、効果的な支援活動を行うためにも適切な分析や評価が必要となる。
461人			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	421106 （431101）	担当課室	障害支援室 （危機管理室・高齢者福祉課）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 避難行動要支援者名簿の作成【重複】		
事業概要	災害が発生したとき、自ら避難することが困難で、特に支援を必要とする方（避難行動要支援者）の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、要支援者の情報をあらかじめ登録した名簿を作成する。		
R5の取組内容	名簿への登録案内を市HPに掲載。また、５月号広報紙に名簿への登録案内の記事を掲載。 名簿の登録者数は、令和６年３月３１日現在で障害者２１３人。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数	
	R4 （障害者）245人 R5 （障害者）213人	評価：B	評価理由：名簿への登録案内は継続しているものの、登録者の捕捉率は低いものと推測される。また、当初登録していた方が、死亡、長期入院、入所、転出が増えたこと等で、登録数は減少した。 今後の課題：制度の周知を図り登録者数を増やす。 一方で、名簿登録後の個別避難計画作成がスムーズに行えるか懸念される。

事業No.	421106 （431101）	担当課室	高齢者福祉課 （危機管理室・障害支援室）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 避難行動要支援者名簿の作成【重複】		
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。		
R5の取組内容	５月号広報ちょうしにて、避難行動要支援者名簿の登録について掲載。（新規登録希望者を募集） 年２回名簿を更新（死亡・転出といった住基異動、施設入所者を名簿から削除） 随時、名簿登録申請を受付するため、新規の申請があった場合はその月末に名簿を随時更新。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数	
	R4年度末 （高齢者）298人 R5年度末 （高齢者）248人	評価：A	評価理由：名簿更新は年間計画に従い、更新できた。 今後の課題：名簿新規登録は高齢者本人やその家族などからの手上げ方式となるため、重複申請のリスクがある。

事業No.	421107 （431102）	担当課室	危機管理室 （障害支援室・高齢者福祉課）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 個別避難計画の作成【重複】		
事業概要	避難行動要支援者に掲載されている要支援者に対し、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画を作成する。		
R5の取組内容	市内の各福祉事業者と個別避難計画作成の業務委託を発注した。また、市、契約事業者、町内会と個別避難計画作成にかかる説明会を開催し、個別避難計画の作成に関して町内会等の理解を得た。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数	
	R4 10人 R5 68人	評価：B	評価理由：今年度予定した対象者の計画作成は完了。引き続き、名簿登録者の個別避難計画作成を進める。 今後の課題：作成した避難計画の更新、保守管理等

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	421107 （431102）	担当課室	障害支援室 （危機管理室・高齢者福祉課）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 個別避難計画の作成【重複】		
事業概要	避難行動要支援者について、誰が支援するか、どこに避難するか、避難するときにどのような配慮が必要かなど、一人ひとりの状況に合わた個別の避難行動計画を作成する。		
R5の取組内容	障害者については、作成対象者数４１人うち、計画作成を希望しない方、名簿の削除を希望する方、長期入院・入所などを除く、２３人について作成。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数	
	R4 （障害者）1人	評価 B	評価理由：順次、避難行動計画を作成しているが、具体的に計画作成の段階で、辞退される（実際は日常生活が自立等）ケースもあった。
	R5 （障害者）23人		今後の課題：・計画作成を行う人材の不足 ・対象者の避難支援を行う支援者（協力者）の選定 ・共助に対する理解の相違（避難支援は「市（行政）」がという考え方

事業No.	421107 （431102）	担当課室	高齢者福祉課 （危機管理室・障害支援室）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 個別避難計画の作成【重複】		
事業概要	避難行動要支援者名簿に掲載されている要支援者に対し、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画を作成する。		
R5の取組内容	１０月個別避難計画作成の業務委託に関する説明会を開催。（ケアマネジャー向け） １２月～１月　計画作成を居宅介護支援事業所へ依頼。ケアマネジャーが対象者宅へ訪問し、個別避難計画素案を作成。 ２月～３月　計画作成の対象町内単位で調整会議を実施し、避難支援計画を作成。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数	
	R4 （高齢者）9人	評価 A	評価理由：ケアマネジャーに計画作成を依頼することで、計画作成業務は円滑に進めることができた。
	R5 （高齢者）45人		今後の課題：調整会議で地域の避難支援者を選定して頂いたが、平常時の地域のつながりが希薄化している町内では、支援者選定が難しかった。

事業No.	（222302） 421201	担当課室	危機管理室
事業名	＜ボランティア・NPOの活動支援＞ 自主防犯組織支援事業【重複】		
事業概要	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助し、自主防犯組織の活動を支援する。		
R5の取組内容	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助し、自主防犯組織の活動を支援した。		
評価内容	評価指標	自主防犯組織の団体数・支援の有無	
	R4 8団体・支援有	評価 A	評価理由：市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助した。
	R5 10団体・支援有		今後の課題：構成員の高齢化等による団体数の減少

事業No.	(222302) 421202	担当課室	危機管理室
事業名	＜地域防犯体制の強化＞ 防犯指導員連絡協議会事業費補助【重複】		
事業概要	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助し、地域の防犯体制の強化を図る。		
R5の取組内容	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。		
評価内容	評価指標	防犯指導員連絡協議会事業費補助額	
	R4	評価	
	200千円	A	評価理由：銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。
	R5		今後の課題：防犯指導員の高齢化、後継者の不足
	200千円		

事業No.	421203	担当課室	危機管理室
事業名	防犯カメラ設置補助事業		
事業概要	町内会等が設置する防犯カメラ及び防犯灯の設置費用を補助し、想定される様々な犯罪の防止を図る。		
R5の取組内容	３団体に対して設置費用を補助した。		
評価内容	評価指標	防犯カメラ設置補助団体数	
	R4	評価	
	－	A	評価理由：町内会等が設置する防犯カメラ及び防犯灯の設置費用を補助した。
	R5		今後の課題：町内会における防犯カメラの継続的な維持管理
	3団体		

事業No.	421204	担当課室	危機管理室
事業名	防犯組合連合会事業費補助事業		
事業概要	千葉県防犯組合連合会の正会員として参加し、犯罪の防止活動を推進し、安全で安心して生活できる地域社会の実現を目指す。		
R5の取組内容	千葉県防犯組合連合会の正会員として参加した。		
評価内容	評価指標	防犯組合連合会事業費補助金額	
	R4	評価	
	101千円	A	評価理由：千葉県防犯組合連合会の正会員として参加した。
	R5		今後の課題：今後も継続して事業を行う。
	100千円		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	421205	担当課室	危機管理室
事業名	特殊詐欺対策電話機器等設置補助事業		
事業概要	市内の高齢者世帯を対象に特殊詐欺対策機能を有した電話機器等の購入費を補助する。		
R5の取組内容	２２件の電話機器等購入費補助を実施した。		
評価内容	評価指標	特殊詐欺対策電話機器等設置補助件数	
	R4	評価	
	－	A	評価理由：引き続き補助金の周知に努め、補助を実施する。
	R5		今後の課題：事業は令和７年度で終了の予定
	22件		

事業No.	421301	担当課室	危機管理室
事業名	自主防災組織活動事業費補助事業		
事業概要	自主防災組織に対する活動事業費を一部補助し、自主防災組織の設立の機運醸成を図る。		
R5の取組内容	町内会への説明、市HP、市広報などでの周知を実施		
評価内容	評価指標	自主防災組織活動事業費補助団体数	
	R4	評価	
	2団体	B	評価理由：町内会への説明、市HP、市広報などでの周知を実施したが、1団体のみの設立に留まった。
	R5		今後の課題：町内会における自主防災組織の設立に対する負担感が強く、組織の機運が高まっていない。
	1団体		

事業No.	（212101）421302	担当課室	危機管理室
事業名	＜リーダー研修の実施＞ 防災士の育成支援（防災ワークショップの開催）【重複】		
事業概要	防災士の資質向上を図るためのフォローアップの取組として、防災講座や防災ワークショップなどを開催する。		
R5の取組内容	千葉県防災研修センターが主催する防災セミナー「避難所開設・運営コース」が令和６年１月２７日（土）に市保健福祉センターで開催されることにあわせ、、当該防災セミナーを令和５年度の防災士フォローアップ講座として位置づけ募集、実施した。		
評価内容	評価指標	防災ワークショップの開催回数・参加人数	
	R4	評価	
	1回・35人	A	評価理由：避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）演習や、能登半島地震で支援活動をした講師による、避難所開設と運営についての体験談や被災地の状況を交えた講義を受講することで防災士の資質向上を図ることができた。
	R5		今後の課題：参加者が毎回同じ方が多いので、開催日時や周知方法を工夫し、多くの防災士に参加していただくようにする必要がある。
	1回・22人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	421401	担当課室	危機管理室
事業名	防災ハザードマップ作成事業		
事業概要	WEB版防災ハザードマップの保守・更新 紙版防災ハザードマップはR2年度作成済		
R5の取組内容	紙版防災ハザードマップはR2年度作成済 WEB版防災ハザードマップの保守・更新を行った。		
評価内容	評価指標	防災ハザードマップの作成	
	R4	評価	
	R2作成済	A	評価理由：紙版防災ハザードマップはR2年度作成済 WEB版防災ハザードマップの保守・更新を行った。
	R5		今後の課題：千葉県が策定予定の津波災害警戒区域や、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等が更新された場合にハザードマップの更新も必要となる。
	R2作成済		

事業No.	421402	担当課室	危機管理室
事業名	防災・防犯メール配信事業		
事業概要	災害時の情報伝達手段の一つとして、防災行政無線で周知している気象警報などの情報を、市民にメール配信する。		
R5の取組内容	広報ちょうしや市ホームページで利用方法を掲載するほか、市民ふれあい講座の防災に関する講座や防災訓練等で利用の案内など啓発活動を行った。また、市公式LINEとの連携もしているため、キャリアメールを使用していない市民についてもLINEで同様の情報を得ることができるようになっている。		
評価内容	評価指標	防災・防犯メール配信（登録者）件数	
	R4	評価	
	8,152件	A	評価理由：広報ちょうしや市ホームページで利用方法を掲載するほか、市民ふれあい講座の防災に関する講座や防災訓練等で利用の案内など啓発活動を行った。
	R5		今後の課題：発災時の迅速な情報収集や配信体制の整備が必要となる。
	8,194件		

事業No.	421403	担当課室	危機管理室
事業名	災害ボランティアセンターの連絡調整体制の強化		
事業概要	銚子市社会福祉協議会、銚子市災害ボランティアセンター連絡調整会議において、災害ボランティアセンター設置時における連絡体制の確認を行う。また、平時において災害ボランティアセンターの運営に関する研修を実施し、知識を高める。		
R5の取組内容	銚子市災害ボランティアセンター連絡調整会議において、災害ボランティアセンター設置時における連絡体制の確認や運営等に関する研修を行った。災害ボランティアセンターの設置及び運営について協定を締結した。		
評価内容	評価指標	災害ボランティアセンターの連絡調整体制の強化	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：災害ボランティアセンターの設置及び運営について協定を締結した。
	R5		今後の課題：災害ボランティアセンターの具体的な運営については、検討していく必要がある。
	有		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	422101	担当課室	消費生活センター
事業名	消費生活啓発事業		
事業概要	消費生活に関する各種講座の開催及び情報提供		
R5の取組内容	市民ふれあい講座、若者を対象にした講座（２高校で実施）、高齢者見守り講座、障害者向け講座の開催 市広報への掲載、パンフレット、リーフレット作成配布による情報提供		
評価内容	評価指標	消費生活啓発事業の実施の有無	
	R4	評価	評価理由
	有	B	市民ふれあい講座、若者を対象にした講座（２高校で実施）、高齢者見守り講座、障害者向け講座、計８回 市広報への掲載、パンフレット、リーフレット作成配布
	R5		今後の課題
	有		講座の開催回数の増加

事業No.	(311114) 422201	担当課室	消費生活センター
事業名	＜消費者被害の相談支援＞ 消費生活センターの運営【重複】		
事業概要	消費生活相談員による消費生活相談		
R5の取組内容	消費生活に関する相談業務及び苦情等への適正かつ迅速な対応と処理		
評価内容	評価指標	消費生活センター相談件数	
	R4	評価	評価理由
	536件	A	相談件数の増加。 適正かつ迅速な対応と処理の遂行。
	R5		今後の課題
	576件		引き続き、適正かつ迅速な対応と処理を実行する。

事業No.	(311102) 423101	担当課室	社会福祉室
事業名	＜生活困窮者自立支援事業＞ 生活困窮者自立支援事業「ちょうしサポートセンター」の運営委託【重複】		
事業概要	生活困窮、長期失業、家族のひきこもり、就労経験不足など心、家庭、健康上などの問題に対し、相談、課題評価・分析、支援計画作成、自立支援を行う。		
R5の取組内容	生活困窮者自立支援業務として、NPO法人SSSに委託。		
評価内容	評価指標	生活困窮者自立支援相談件数	
	R4	評価	評価理由
	152件	B	生活困窮者自立支援事業のうち、法定必須事業である「自立相談支援事業」は実施しているが、任意事業である「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」は未実施。
	R5		今後の課題
	120件		任意事業である「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」を一体的に実施することにより、さらなる効果を生み出す。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	423201 （511201）	担当課室	社会福祉室
事業名	＜生活保護事業など＞ 生活保護事業【重複】		
事業概要	資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。		
R5の取組内容	制度に従い生活保護制度を適正に執行した。		
評価内容	評価指標	生活保護受給世帯数	
	R4	評価	
	583世帯	A	評価理由：制度に従い生活保護制度を適正に執行した。
	R5		今後の課題：引き続き適正に生活保護事務を執行する。
	591世帯		

事業No.	423202 （511202）	担当課室	社会福祉室
事業名	＜生活保護事業など＞ 住居確保給付金支給事業【重複】		
事業概要	「離職」「自営業の廃止」又は「ご自身の都合によらない就業機会等の減少」により経済的に困窮し、「住居を喪失している方」又は「住居を喪失するおそれのある方」に対し、一定期間、家賃相当分の給付金を支給することにより、住居と就労機会の確保を支援する。		
R5の取組内容	ＮＰＯ法人ＳＳＳに給付金の相談・申請受付業務を委託。 市において、実世帯数２世帯、延べ５月分の家賃相当の給付金を支給。		
評価内容	評価指標	住居確保給付金支給件数	
	R4	評価	
	2件	A	評価理由：ＮＰＯ法人ＳＳＳ及び市社会福祉協議会と連携しながら給付金事務を実施した。
	R5		今後の課題：引き続き適正に給付金事務を執行する。 同制度の利用後、必要に応じて生活保護制度などと連携する。
	2件		

事業No.	423203	担当課室	学校教育室
事業名	準要保護などの就学援助		
事業概要	学校教育法の規定により、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学援助費を支給する。		
R5の取組内容	就学援助費支給のための認定事務など、学校・保護者と連絡を取り合い、不利益が生じないように執行した。		
評価内容	評価指標	準要保護人数	
	R4	評価	
	264人	A	評価理由：支給漏れなど、不利益が生じないように制度運用ができた。
	R5		今後の課題：引続き、円滑な制度の運用を図る。
	227人		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	（421106） 431101	担当課室	危機管理室 （障害支援室・高齢者福祉課）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 避難行動要支援者名簿の作成【重複】		
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。		
R5の 取組内容	作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。		

評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R4	評価	評価理由	作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。
	543人	A		
	R5		今後の課　題	関係機関および関係者との共有と連携を今後も行っていく。また、効果的な支援活動を行うためにも適切な分析や評価が必要となる。
	461人			

事業No.	（421106） 431101	担当課室	障害支援室 （危機管理室・高齢者福祉課）
事業名	＜避難行動要支援者支援制度＞ 避難行動要支援者名簿の作成【重複】		
事業概要	災害が発生したとき、自ら避難することが困難で、特に支援を必要とする方（避難行動要支援者）の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、要支援者の情報をあらかじめ登録した名簿を作成する。		
R5の 取組内容	名簿への登録案内を市HPに掲載。また、５月号広報紙に名簿への登録案内の記事を掲載。 名簿の登録者数は、令和６年３月３１日現在で障害者２１３人。		

評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R4	評価	評価理由	名簿への登録案内は継続しているものの、登録者の捕捉率は低いものと推測される。また、当初登録していた方が、死亡、長期入院、入所、転出が増えたこと等で、登録数は減少した。
	（障害者）245人	B		
	R5		今後の課　題	制度の周知を図り登録者数を増やす。 一方で、名簿登録後の個別避難計画作成がスムーズに行えるか懸念される。
	（障害者）213人			

事業No.	（421106） 431101	担当課室	高齢者福祉課 （危機管理室・障害支援室）
事業名	＜避難行動要支援者支援制度＞ 避難行動要支援者名簿の作成【重複】		
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。		
R5の 取組内容	５月号広報ちょうしにて、避難行動要支援者名簿の登録について掲載。（新規登録希望者を募集） 年２回名簿を更新（死亡・転出といった住基異動、施設入所者を名簿から削除） 随時、名簿登録申請を受付するため、新規の申請があった場合はその月末に名簿を随時更新。		

評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R4年度末	評価	評価理由	名簿更新は年間計画に従い、更新できた。
	（高齢者）298人	A		
	R5年度末		今後の課　題	名簿新規登録は高齢者本人やその家族などからの手上げ方式となるため、重複申請のリスクがある。
	（高齢者）248人			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	（421107） 431102	担当課室	危機管理室 （障害支援室・高齢者福祉課）
事業名	＜災害時における要配慮者への支援＞ 個別避難計画の作成【重複】		
事業概要	災害時に自ら避難することが困難なもの（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、一人ひとりの状況に合わせた避難計画を作成する。		
R5の取組内容	市内の各福祉事業者と個別避難計画作成の業務委託を発注した。また、市、契約事業者、町内会と個別避難計画作成にかかる説明会を開催し、個別避難計画の作成に関して町内会等の理解を得た。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数	
	R4 10人	評価 B	評価理由：今年度予定した対象者の計画作成は完了。引き続き、名簿登録者の個別避難計画作成を進める。
	R5 68人		今後の課題：作成した避難計画の更新、保守管理等

事業No.	（421107） 431102	担当課室	障害支援室 （危機管理室・高齢者福祉課）
事業名	＜避難行動要支援者支援制度＞ 個別避難計画の作成【重複】		
事業概要	避難行動要支援者について、誰が支援するか、どこに避難するか、避難するときにどのような配慮が必要かなど、一人ひとりの状況に合わた個別の避難行動計画を作成する。		
R5の取組内容	障害者については、作成対象者数４１人うち、計画作成を希望しない方、名簿の削除を希望する方、長期入院・入所などを除く、２３人について作成。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数	
	R4 （障害者）1人	評価 B	評価理由：順次、避難行動計画を作成しているが、具体的に計画作成の段階で、辞退される（実際は日常生活が自立等）ケースもあった。
	R5 （障害者）23人		今後の課題： ・計画作成を行う人材の不足 ・対象者の避難支援を行う支援者（協力者）の選定 ・共助に対する理解の相違（避難支援は「市（行政）」がという考え方

事業No.	（421107） 431102	担当課室	高齢者福祉課 （危機管理室・障害支援室）
事業名	＜避難行動要支援者支援制度＞ 個別避難計画の作成【重複】		
事業概要	避難行動要支援者名簿に掲載されている要支援者に対し、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画を作成する。		
R5の取組内容	１０月個別避難計画作成の業務委託に関する説明会を開催。（ケアマネジャー向け） １２月～１月　計画作成を居宅介護支援事業所へ依頼。ケアマネジャーが対象者宅へ訪問し、個別避難計画素案を作成。 ２月～３月　計画作成の対象町内単位で調整会議を実施し、避難支援計画を作成。		
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数	
	R4 （高齢者）９人	評価 A	評価理由：ケアマネジャーに計画作成を依頼することで、計画作成業務は円滑に進めることができた。
	R5 （高齢者）45人		今後の課題：調整会議で地域の避難支援者を選定して頂いたが、平常時の地域のつながりが希薄化している町内では、支援者選定が難しかった。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	431201 （432201）	担当課室	障害支援室
事業名	＜見守り支援活動＞ 障害者虐待防止センターの設置【重複】		
事業概要	障害のある人への虐待を発見した人の通報や虐待を受けた本人からの届け出の受付窓口となる「障害者虐待防止センター」を設置する。		
R5の取組内容	令和５年度は「障害者虐待防止センター」において、１０件の相談を受付け、障害者の安全確認や、障害福祉サービス事業者・医療機関などと連携しながら対応・支援方法を検討した。		
評価内容	評価指標	障害者虐待防止センターにおける相談件数	
	R4 12件	評価 B	評価理由：センターにおいて、相談・見守り支援などを実施しているが、支援対象件数が増加しているだけでなく、障害者本人のみならず関係者の複雑多様化が進み、関係機関とのさらなる支援連携体制が重要となっている。センター職員の人員配置の充実が求められる。
	R5 10件		今後の課題：人員配置の充実・強化。

事業№	431202	担当課室	高齢者福祉課
事業名	認知症対策事業 （認知症初期集中支援チーム、見守りSOSネットワーク、どこシル伝言板、認知症カフェの運営支援など）		
事業概要	認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、各種認知症施策を実施する。		
R5の取組内容	認知症初期集中支援チームが主催した連絡会２回に出席し、チーム員のスキルアップとチーム同士の連携が取れる様に助言。見守りSOSネットワークは、認知症による徘徊のリスクがある高齢者の事前登録を実施。SOS登録時にどこシル伝言板も周知。認知症カフェの運営状況を、認知症施策を考える会で共有。アルツハイマー月間で市内４ヶ所で認知症対策事業を啓発するパネルを展示。		
評価内容	評価指標	認知症対策事業の実施の有無	
	R4 有	評価 A	評価理由：概ね計画どおり事業を実施できた。
	R5 有		今後の課題：認知症初期集中支援チームの稼働が増える様に、支援対象者の把握をしていく。

事業№	431203	担当課室	障害支援室・（子育て支援課 高齢者福祉課・保健事業室）
事業名	民間事業者との見守り協定の締結		
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。		
R5の取組内容	令和５年度は新たに１事業者と見守り協定を締結（計13か所） （障害者を対象として含む協定８か所）		
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（障害者）	
	R4 7か所	評価 A	評価理由：新たに１事業所と見守り協定を締結。
	R5 8か所		今後の課題：引き続き民間事業者からの申出を受け、見守り協定を締結していく。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）

資料１－１

事業№	431203	担当課室	子育て支援課・（障害支援室 高齢者福祉課・保健事業室）
事業名	民間事業者との見守り協定の締結		
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。		
R5の取組内容	令和５年度は新たに１事業者と見守り協定を締結（計13か所） （子どもを対象として含む協定８か所）		
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（子育て）	
	R4	評価	
	7件	A	評価理由：新たに１事業所と見守り協定を締結。
	R5		今後の課題：引き続き民間事業者からの申出を受け、見守り協定を締結していく。
	8件		

事業№	431203	担当課室	高齢者福祉課（子育て支援課・障害支援室・保健事業室）
事業名	民間事業者との見守り協定の締結		
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。		
R5の取組内容	令和５年度は新たに１事業者と見守り協定を締結（計１３か所） （高齢者を対象として含む協定１３か所）		
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（高齢者）	
	R4	評価	
	12件	B	評価理由：事業者の申し出に応じ、高齢者の見守り協定を締結し、地域の見守りネットワーク体制の充実を図ることができた。
	R5		今後の課題：引き続き民間事業者からの申出を受け、見守り協定を締結していく。
	13件		

事業№	431203	担当課室	保健事業室・（障害支援室・子育て支援課・高齢者福祉課）
事業名	民間事業者との見守り協定の締結		
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。		
R5の取組内容	令和５年度は新たに１事業者と見守り協定を締結（計１３か所） （子どもを対象として含む協定８か所）		
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（子ども）	
	R4	評価	
	7件	A	評価理由：新たに１事業所と見守り協定を締結。
	R5		今後の課題：引き続き民間事業者からの申出を受け、見守り協定を締結していく。
	8件		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	431204	担当課室	生涯学習室
事業名	銚子市PTA連絡協議会、銚子市青少年相談員による交通安全運動・パトロールの実施		
事業概要	銚子市PTA連絡協議会による交通安全運動の実施 銚子市青少年相談員によるパトロールの実施		
R5の取組内容	銚子市PTA連絡協議会による夏（７月１２日）、秋（９月２６日）のシートベルトチェックの実施 銚子市青少年相談員による夏季合同パトロール（花火大会）（８月５日）、年末年始特別警戒パトロール（１２月１３日）の実施		

評価内容				
	評価指標	交通安全運動・パトロールの実施回数		
	R4	評価	評価理由	各団体の事業計画通りに交通安全運動・パトロールを実施した。
	2回	A		
	R5		今後の課　題	今後も、同様に交通安全運動・パトロールを実施する。
	4回			

事業№	431205	担当課室	青少年指導センター
事業名	銚子市青少年補導員によるパトロールの実施		
事業概要	銚子市青少年補導員によるパトロールの実施		
R5の取組内容	定例街頭補導のほか、県下一斉（７月２８日）、花火大会（８月５日）、列車（１１月１６日）、歳末パトロール（１２月１３日）を実施		

評価内容				
	評価指標	パトロールの実施回数		
	R4	評価	評価理由	定例街頭補導・パトロールを実施した。
	29回	A		
	R5		今後の課　題	今後も、同様に定例街頭補導・パトロールを実施する。
	27回			

事業№	432101	担当課室	障害支援室 （高齢者福祉課）
事業名	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護業務		
事業概要	成年後見制度の周知・運用、関係団体のネットワーク構築、中核機関の設置など、高齢者や障害者など、立場が弱いとされている方の権利を守るための取り組みを推進する。		
R5の取組内容	地域包括支援センターと基幹相談支援センターの間や、東総権利擁護ネットワークなど関係機関と情報共有を行った。		

評価内容				
	評価指標	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護関係相談数		
	R4	評価	評価理由	相談内容の精査と、支援体制について方向性の検討が必要
	419件	B		
	R5		今後の課　題	具体的な協議を図っていく。人員及び人材の充実・強化を図る必要がある。
	（障害）227件			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	432101	担当課室	高齢者福祉課 （障害支援室）
事業名	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護業務		
事業概要	成年後見制度の周知・運用、関係団体のネットワーク構築、中核機関の設置など、高齢者や障害者など、立場が弱いとされている方の権利を守るための取り組みを推進する。		
R5の取組内容	権利侵害を受けている疑いのある高齢者等を発見し、専門的な関与や緊急対応・継続的なフォロー等を行った。		
評価内容	評価指標	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護関係相談数	
	R4	評価	評価理由
	419件	A	委託型地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターが連携し、対象となる高齢者の支援を行った。
	R5		今後の課題
	445件		権利侵害疑いのある高齢者の発見がされれば早急に対応と支援する。

事業No.	432102	担当課室	障害支援室 （高齢者福祉課）
事業名	成年後見人等報酬助成事業		
事業概要	市長が成年後見制度に係る審判の請求を行った場合に、家庭裁判所が選任した成年後見人、保佐人及び補助人への報酬の支払に要する費用を助成する。		
R5の取組内容	令和5年度は、市長申立ての助成の申請はなかった。親族申立てが1件申請があったが、現行の規則の助成対象ではないため、却下となった。		
評価内容	評価指標	成年後見人等報酬助成件数	
	R4	評価	評価理由
	0件	B	制度としては存在するが、助成対象が市長申し立てのケースに限られる。対象者の適正化を図る。
	R5		今後の課題
	0件		親族申立てのケースについて、成年後見人等への報酬の支払いが困難になった場合、助成対象とならない。（助成対象が市長申し立てのケースに限られている。）

事業No.	432102	担当課室	高齢者福祉課 （障害支援室）
事業名	成年後見人等報酬助成事業		
事業概要	市長が成年後見制度に係る審判の請求を行った場合に、家庭裁判所が選任した成年後見人、保佐人及び補助人への報酬の支払に要する費用の助成を行う。		
R5の取組内容	成年後見人への報酬助成を３件実施した。		
評価内容	評価指標	成年後見人等報酬助成件数	
	R4	評価	評価理由
	6件	B	成年後見人等への報酬助成を実施した。
	R5		今後の課題
	3件		国からの通知を踏まえ、対象者の拡充等の検討をする必要がある。

事業№	432103	担当課室	障害支援室 （高齢者福祉課）
事業名	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討		
事業概要	権利擁護の支援策として、自己の財産を家族に託し、あらかじめ定めた信託目的に従って、管理・処分・承継する「家族信託」や、日常的な支払をするのに必要十分な金銭を預貯金等として後見人が管理し、通常使用しない金銭を信託銀行等に信託する「後見制度支援信託」など支援策の活用を検討する。		
R5の取組内容	特に取組なし。		
評価内容	評価指標	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討の有無	
	R4	評価	評価理由
	無	C	「家族信託」、「後見制度支援信託」について、具体的な検討は行えていない。
	R5		今後の課題
	無		関係課で連携を図り、検討に着手すべきも、人員体制が不十分である。

事業№	432103	担当課室	高齢者福祉課 （障害支援室）
事業名	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討		
事業概要	権利擁護の支援策として、自己の財産を家族に託し、あらかじめ定めた信託目的に従って、管理・処分・承継する「家族信託」や、日常的な支払をするのに必要十分な金銭を預貯金等として後見人が管理し、通常使用しない金銭を信託銀行等に信託する「後見制度支援信託」など支援策の活用を検討する。		
R5の取組内容	特に取組なし。		
評価内容	評価指標	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討の有無	
	R4	評価	評価理由
	無	C	「家族信託」、「後見制度支援信託」について、具体的な検討は行えていない。
	R5		今後の課題
	無		財産の多く残る身寄りのない人がどの程度市内で現存するのか把握が必要。

事業№	（431201） 432201	担当課室	障害支援室 （高齢者福祉課）
事業名	＜虐待対策の推進＞ 障害者虐待防止センターの設置【重複】		
事業概要	障害のある人への虐待を発見した人の通報や虐待を受けた本人からの届け出の受付窓口となる「障害者虐待防止センター」を設置する。		
R5の取組内容	令和５年度は「障害者虐待防止センター」において、１０件の相談を受付け、障害者の安全確認や、障害福祉サービス事業者・医療機関などと連携しながら対応・支援方法を検討した。		
評価内容	評価指標	障害者虐待防止センターにおける相談件数	
	R4	評価	評価理由
	12件	B	センターにおいて、相談・見守り支援などを実施しているが、支援対象件数が増加する中、センター職員の人員配置の充実が求められる。
	R5		今後の課題
	10件		人員配置の充実・強化。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	432202	担当課室	高齢者福祉課
事業名	高齢者虐待防止法に基づいた高齢者虐待への対応・養護者支援		
事業概要	虐待通報を受けた場合、委託型包括支援センター職員による事実確認、市職員とのコア会議開催、調査結果の決定を行う。また、高齢者、養護者各々の支援について方向性を決め、虐待再発予防を図る。		
R5の取組内容	高齢者虐待通報を受けると委託型地域包括支援センターは迅速に対応することが出来た。市への報告、高齢者、養護者への確認と聞取り、関係機関からの情報収集等を整理して、なるべく早い時期でのコア会議の開催が出来た。必要に応じてケース支援会議等を行って、高齢者や養護者の安全で安心できる支援を心がけて行動できた。		
評価内容	評価指標	高齢者虐待の相談受理件数	
	R4	評価	評価理由
	30件	A	虐待通報を受けてから、事実確認をするまでをマニュアル化し、迅速に対応出来た。
	R5		今後の課題
	33件		引き続き迅速な対応をしていく。

事業No.	432203	担当課室	保健事業室
事業名	子ども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センター「すくサポ」の運営		
事業概要	子育て世代包括支援センター「すくサポ」及び「子ども家庭総合支援拠点」における虐待対策の推進。		
R5の取組内容	各種母子保健事業による対応、子育てコンシェルジュによる個別相談支援や保育所との連携。 特定妊婦や養育困難・虐待に対する個別対応や支援会議の開催。 その他、支援が必要なケースに対する対応。		
評価内容	評価指標	「すくサポ」相談件数・「子ども家庭総合支援拠点」相談件数	
	R4	評価	評価理由
	588件・1,160件	A	特に問題なく運営できている。
	R5		今後の課題
	529件・1,136件		制度改正に伴い新たに、こども家庭センター設置に向けた検討をしていく。

事業No.	432204	担当課室	保健事業室
事業名	要保護児童対策地域協議会の開催運営		
事業概要	児童福祉法第２５条の２に基づき、要保護児童等に関する情報交換や支援内容の協議を行う法定協議会を開催、運営する。代表者会議・実務者会議・個別支援会議で構成。		
R5の取組内容	代表者会議１回、実務者会議４回、個別支援会議２８回開催。		
評価内容	評価指標	要保護児童対策地域協議会の開催回数	
	R4	評価	評価理由
	14回	A	代表者会議・実務者会議はスケジュール通りに開催することができた。また、個別支援会議についても必要に応じて開催することができた。
	R5		今後の課題
	33回		効果的な情報交換や支援内容の協議をするための会議運営をしていく。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	511101	担当課室	都市整備室 （管財室）
事業名	都市計画マスタープラン・公共施設等総合管理計画におけるバリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備		
事業概要	バリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備		
R5の取組内容	特に周知等は実施していない。		
評価内容	評価指標	バリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備状況	
	R4	評価	
	無	D	評価理由：未実施
	R5		今後の課題：どのようにしてバリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備を展開していくか検討が必要である。
	無		

事業№	511101	担当課室	管財室 （都市整備室）
事業名	都市計画マスタープラン・公共施設等総合管理計画におけるバリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備		
事業概要	すべての市民が快適で安心して日常生活が営める環境を整備するため、道路や公共施設などにおけるバリアフリー・ユニバーサルデザインを推進する。		
R5の取組内容	R6.3.29　庁舎付属棟トイレの洋式化		
評価内容	評価指標	バリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備状況	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：庁舎付属棟トイレ様式改修工事
	R5		今後の課題：本庁舎トイレ洋式化 課題、要望の抽出方法検討
	有 （改修1回）		

事業№	（423201） 511201	担当課室	社会福祉室
事業名	＜住宅に配慮を要する者の住まいの確保＞ 生活保護事業【重複】		
事業概要	資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。住宅扶助を含む。		
R5の取組内容	住宅扶助を含め、制度に従い生活保護制度を適正に執行した。 住宅に配慮する世帯に対しては、必要に応じて無料定額宿泊所への入所案内、公営住宅の緊急入所の紹介を行った。		
評価内容	評価指標	生活保護受給世帯数	
	R4	評価	
	583世帯	A	評価理由：住宅扶助を含め、制度に従い生活保護制度を適正に執行した。
	R5		今後の課題：引き続き適正に生活保護事務を執行する。
	591世帯		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	(423202) 511202	担当課室	社会福祉室
事業名	＜住宅に配慮を要する者の住まいの確保＞ 住居確保給付金支給事業【重複】		
事業概要	「離職」「自営業の廃止」又は「ご自身の都合によらない就業機会等の減少」により経済的に困窮し、「住居を喪失している方」又は「住居を喪失するおそれのある方」に対し、一定期間、家賃相当分の給付金を支給することにより、住居と就労機会の確保を支援する。		
R5の取組内容	ＮＰＯ法人ＳＳＳに給付金の相談・申請受付業務を委託。 市において、実世帯数２世帯、延べ５月分の家賃相当の給付金を支給。		

評価内容				
	評価指標	住居確保給付金支給件数		
	R4	評価	評価理由	ＮＰＯ法人ＳＳＳ及び市社会福祉協議会と連携しながら給付金事務を実施した。
	2件	A		
	R5		今後の課　題	引き続き適正に給付金事務を執行する。 同制度の利用後、必要に応じて生活保護制度などと連携する。
	2件			

事業No.	511203	担当課室	都市整備室
事業名	公営住宅の提供		
事業概要	市営住宅入居者の公募・入居の許可		
R5の取組内容	６月と１２月に市営住宅入居者の公募を実施し、入居の許可を行った。		

評価内容				
	評価指標	市営住宅入居世帯数		
	R4	評価	評価理由	新規入居世帯よりも退去世帯が多くなっており、入居世帯数が減少している。
	430世帯	B		
	R5		今後の課　題	市営住宅は老朽化等もあり、入居者の公募を行っても募集が少ない状況が続いているため、今後、空き部屋の解消にに向けた取組みを進めていく必要がある。
	398世帯			

事業No.	511204	担当課室	都市整備室
事業名	住宅セーフティネット制度における取組の検討		
事業概要	民間賃貸住宅を、住宅確保要配慮者（要配慮者）の入居を拒まない住宅として登録してもらい、要配慮者の方々へ提供してもらう「住宅セーフティネット制度」の取組を検討する。		
R5の取組内容	「住宅セーフティネット制度」の取組は進まなかったが、住宅困窮者に対し、社会福祉室やちょうしサポートセンター等の福祉部門への連携を行った。		

評価内容				
	評価指標	住宅セーフティネット制度における取組の検討の有無		
	R4	評価	評価理由	福祉部門への連携は行ったが、多様化する住宅困窮者への居住支援に対応するための取組みが必要である。
	無	B		
	R5		今後の課　題	高齢者や障害者、子育て世帯などの住宅困窮者に対し、関係部局と十分な連携を取りながら、公営住宅への入居やセーフティネット登録住宅の紹介など更なる支援の充実が求められる。
	有			

事業№	511301	担当課室	障害支援室
事業名	手話通訳者・要約筆記者の派遣		
事業概要	聴覚、言語機能、音声機能等の障害のために意思疎通の支援が必要な方へ、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。これにより、障害者などの生きがいづくりと社会参加の促進を図る。		
R5の取組内容	令和５年度は、手話通訳者４件（要約筆記者０件）の派遣を行った。		
評価内容	評価指標	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数	
	R4	評価	
	39件	B	評価理由：事業を継続して実施した。
	R5		今後の課題：制度周知の充実を図る。
	4件		

事業№	511302	担当課室	障害支援室
事業名	自動車改造費用の助成		
事業概要	身体障害者手帳1、2級(上肢、下肢または体幹機能障害に限る）を取得した18歳以上の方が所有し、就労などに使用する自動車を、自ら運転するために必要な特別の構造や装置を備える改造を行うために必要な費用の一部を助成する。		
R5の取組内容	令和５年度は、身体障害者自動車改造費１件（100,000円）の助成を行った。		
評価内容	評価指標	自動車改造費用の助成件数	
	R4	評価	
	0件	B	評価理由：事業を継続して実施した。
	R5		今後の課題：制度の周知を充実させる。
	1件		

事業№	511303	担当課室	障害支援室
事業名	障害者就労支援		
事業概要	生きがいづくりや社会参加を促進するため、障害や疾患などの理由で働くことに困難がある人を対象に、就職し、働き続けられる過程を支援する。 （「就労移行支援」「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」「就労定着支援」）		
R5の取組内容	随時相談を受け、支援につないだ。 「就労継続支援A型」事業所との情報共有を図った ハローワークや東総就業センター等関係機関と連携を図った		
評価内容	評価指標	障害者就労支援件数	
	R4	評価	
	56件	A	評価理由：事業を継続して実施した。「就労継続支援A型」の事業所ができたことで、相談件数もかなり増加している。
	R5		今後の課題：・就労の場の掘り起こしや就労支援事業所などの関係機関のネットワークの充実強化。 ・就職後の継続的、安定的な就労支援。
	112件		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	511304	担当課室	障害支援室
事業名	社会福祉活動用機材の貸出		
事業概要	障害者の社会参加、地域住民の自主的・主体的な社会福祉活動を推進することを目的として、機材（カローリングなどスポーツ機器など）を障害者団体・社会福祉活動団体に貸し出す。		
R5の取組内容	延べ３件の貸し出しを行った。 （貸出機器：スポーツ機器（カローリング・ブラインドボール）、意思疎通支援機器（磁気ループシステム））		
評価内容	評価指標	社会福祉活動用機材の貸出件数	
	R4	評価	
	16件	B	評価理由：貸出を行うも利用実績が少ない。
	R5		今後の課題：市HP以外の周知方法を検討する。 貸出機材の充実の検討。
	3件		

事業№	511305	担当課室	高齢者福祉課
事業名	生涯大学の周知・啓発		
事業概要	生涯大学の開催する公開講座や学生募集等について広報等で周知を行い、高齢者の社会参加を促す。		
R5の取組内容	広報（１０月号）に１１月実施の公開講座について掲載。 広報（１１・２月号）に学生募集（１次・２次）について掲載し、窓口にて願書の配付および受付を実施。 学生募集（２次追加）について、窓口にてチラシの配付を実施。		
評価内容	評価指標	生涯大学の周知の有無	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：広報による周知を行い一定程度の効果があったが、ほかの周知方法を活用してさらなる周知を行う必要がある。
	R5		今後の課題：今後は広報のほかに公式LINE等を活用し、さらなる周知に努める。
	有		

事業№	511306	担当課室	生涯学習室
事業名	市民ふれあい講座の実施		
事業概要	市内の団体等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を生かした実習等の講座の実施		
R5の取組内容	「防災・減災について」、「介護保険と高齢者福祉サービスの概要」、「消費生活「こんなトラブルにご用心」」等、全６０項目の講座メニューにより実施		
評価内容	評価指標	市民ふれあい講座の実施回数	
	R4	評価	
	8回	A	評価理由：毎年、講座メニューの更新作業を行っており、令和５年度は、全６０項目の講座メニューにより実施した。
	R5		今後の課題：今後も、同様に市民ふれあい講座を実施する。
	23回		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）

資料１－１

事業No.	511307	担当課室	生涯学習室 市民センター
事業名	銚子市文化祭の開催		
事業概要	銚子市文化祭の開催		
R5の取組内容	銚子市文化祭展覧・文芸の部（１０月７日～１５日のうち４日間）、芸能の部（１０月２１日～１１月５日のうち６日間）の開催		

評価内容				
評価指標	銚子市文化祭の参加団体数			
R4	評価	評価理由	市内の文化団体が参加し、銚子市文化祭を開催した。
42団体	A		
R5		今後の課　題	今後も、同様に銚子市文化祭を開催する。
48団体			

事業No.	511308	担当課室	市民センター
事業名	市民センター主催講座・教室の開催		
事業概要	趣味・教養・職業知識など、一般成人対象を中心に各種講座を開設する。		
R5の取組内容	一般成人及び親子を対象とした各種講座を実施した。		

評価内容			
評価指標	市民センター主催講座・教室の開催回数		
R4	評価	評価理由	趣味・教養・職業知識など、一般成人対象を中心に各種講座を実施した。
167回	B		
R5		今後の課　題	若年層と男性の参加が少なく、また、平日昼間の実施は参加者が限られるため、今後、事業内容や実施時間帯の検討が必要である。
186回			

事業No.	511401	担当課室	障害支援室
事業名	日常生活用具の給付		
事業概要	障害者等の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付又は貸与することにより、福祉の増進を図る事業。 （市町村が行う地域生活支援事業のうちの必須事業の一つ）		
R5の取組内容	ストマ用装具など日常生活用具の給付・貸与を行った。		

評価内容			
評価指標	日常生活用具の給付件数		
R4	評価	評価理由	事業を継続して実施した。
1,867件	B		
R5		今後の課　題	必要に応じて給付品目や基準額などの見直しの検討。
1,555件			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）

資料１－１

事業No.	511402	担当課室	障害支援室 （高齢者福祉課）
事業名	家具転倒防止器具等設置費用の助成		
事業概要	地震発生時等の被害を軽減するため、家具の転倒防止器具等の設置費用を助成する。		
R5の取組内容	事業は実施したが、助成申請者はいなかった。		
評価内容	評価指標	家具転倒防止器具等設置費用の助成件数	
	R4	評価	
	0件	B	評価理由：事業を継続して実施ているが、助成申請がない。
	R5		今後の課題：広報紙などを使い周知に努める。
	0件		

事業No.	511402	担当課室	高齢者福祉課 （障害支援室）
事業名	家具転倒防止器具等設置費用の助成		
事業概要	高齢者等の居宅における家具の転倒防止器具の設置に要する費用を助成し、地震発生時等の被害を軽減する。		
R5の取組内容	市ホームページに周知の記事を掲載中。		
評価内容	評価指標	家具転倒防止器具等設置費用の助成件数	
	R4	評価	
	0件	B	評価理由：ホームページに制度周知の記事を掲載しているが、今年度の助成件数が０件であり、事業の周知が不足していると思われる。
	R5		今後の課題：ホームページのほかに周知方法を検討し、本事業の周知に努める。
	0件		

事業No.	511403	担当課室	高齢者福祉課
事業名	住宅改修の助成		
事業概要	要介護または要支援の認定を受けられた方が住み慣れた家で自立した生活を送るために住宅の一部を改修する場合に介護保険サービスとして、対象経費（改修費用上限２０万円）の一部を支給する。		
R5の取組内容	市ホームページに制度周知の記事を掲載中。		
評価内容	評価指標	住宅改修の助成件数	
	R4	評価	
	161件	A	評価理由：助成件数が前年度より増えている。
	R5		今後の課題：住宅改修の内容が適切なものになっているか、実地調査等の確認を継続的に行っていく。
	182件		

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	(221201) 512101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	＜地域ぐるみでの健康づくりの推進＞ めざせ！元気シニア講座の開催【重複】		
事業概要	地域の誰もが参加でき、介護予防に取り組む通いの場となる「めざせ！元気シニア講座」を開催する。		
R5の取組内容	プラチナ体操を立ち上げようとしている団体に対し、地域の現状や一般介護予防の必要性、プラチナ体操の体験を行う。		
評価内容	評価指標	めざせ！元気シニア講座の開催回数・参加人数	
	R4 5回・71人	評価 B	評価理由：Ｒ５年度に新規団体として４団体立ち上がっているが、以前実施していて解散となった団体等で元気シニア講座を開催した団体は２か所のみとなった。
	R5 2回・32人		今後の課題：プラチナ体操新規団体発足の為、プラチナ体操未活動地域に対し積極的に開催していく必要あり。

事業No.	512102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	銚子プラチナ体操実施団体への支援		
事業概要	住民グループが地区の会場などに集まり、主体的に行う筋力アップ体操（プラチナ体操）の実施団体を支援する。		
R5の取組内容	基幹型・委託型地域包括支援センターと協力し、既存実施団体へ連絡や訪問などきめ細かく実施。 各団体を訪問し、プラチナ体操の指導の他、体力測定や脳トレなどの指導も実施。 新型コロナ流行以降縮小していた、各圏域ごとの交流会を参加の制限を設けず開催した。		
評価内容	評価指標	銚子プラチナ体操実施団体数	
	R4 52団体 （毎週・隔週）	評価 B	評価理由：団体への支援を行うことで、解散数を抑え、団体参加者数をＲ４と同数にすることがことができた。
	R5 52団体 （毎週・隔週）		今後の課題：圏域によっては減少が大きいため、参加者が継続して参加できるよう引き続き支援していく。

事業No.	512201	担当課室	保健事業室
事業名	食育推進計画事業の推進		
事業概要	市民一人ひとりが、「食」について学び、食生活の改善や食の安全性への意識を高め、「食を通じた健康づくり」をめざして、「食育」の推進を図る。		
R5の取組内容	・乳幼児健診、特定保健指導結果説明会や特定保健指導において年代に応じたより良い食生活に関する教育及び相談実施。 ・地域住民が健康維持増進が図れるよう食生活健康推進員がより良い食生活について情報発信を行えるよう働きかけを行った。		
評価内容	評価指標	食育推進計画事業の推進の有無	
	R4 有	評価 B	評価理由：各種健診会場やその事後指導の場、食生活健康推進員の研修会などで実施することができた。
	R5 有		今後の課題：関係機関との連携した取組みをさらに進めていくことが必要。

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業No.	512301	担当課室	保険年金室 （高齢者福祉課・保健事業室）
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施		
事業概要	75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者を対象とし、健診・医療・介護レセプトデータ等の分析を行い、地域の健康課題の把握及びフレイルハイリスク者を抽出し、一体的にフレイル・介護予防に取り組んでいく。		
R5の取組内容	（ハイリスクアプローチ）①健康状態不明者の実態把握 ②低栄養、オーラルフレイル、生活習慣病重症化予防 （ポピュレーションアプローチ）プラチナ体操にてフレイル予防の健康教育実施、地域イベントにおいて健康相談実施。		

評価内容	評価指標	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施		
	R4	評価	評価理由	（実施内容） ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチそれぞれの取組について、年間スケジュール通りに円滑に実施することができた。
	有	A		
	R5		今後の課題	新規取組として、多剤重複服薬・頻回受診がみられる後期高齢者に対してアプローチを検討する。
	有			

事業No.	512301	担当課室	高齢者福祉課 （保険年金室・保健事業室）
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施		
事業概要	７５歳以上の後期高齢者医療保険被保険者を対象とし、健診・医療・介護レセプトデータ等の分析を行い、地域の健康課題の把握及びフレイルハイリスク者を抽出し、一体的にフレイル・介護予防に取り組んでいく。		
R5の取組内容	（ハイリスクアプローチ）①健康状態不明者の実態把握 ②低栄養、オーラルフレイル、生活習慣病重症化予防 （ポピュレーションアプローチ）プラチナ体操にてフレイル予防の健康教育実施、地域イベントにおいて健康相談実施。		

評価内容	評価指標	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施		
	R4	評価	評価理由	ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチそれぞれの取組について、年間スケジュール通りに円滑に実施することができた。
	有	A		
	R5		今後の課題	新規取組として、多剤重複服薬・頻回受診がみられる後期高齢者に対してアプローチを検討する。
	有			

事業No.	512301	担当課室	保健事業室 （保険年金室・高齢者福祉課）
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施		
事業概要	75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者を対象とし、健診・医療・介護レセプトデータ等の分析を行い、地域の健康課題の把握及びフレイルハイリスク者を抽出し、一体的にフレイル・介護予防に取り組んでいく。		
R5の取組内容	（ハイリスクアプローチ）①健康状態不明者の実態把握 ②低栄養、オーラルフレイル、生活習慣病重症化予防 （ポピュレーションアプローチ）プラチナ体操にてフレイル予防の健康教育実施、地域イベントにおいて健康相談実施。		

評価内容	評価指標	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施		
	R4	評価	評価理由	ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチそれぞれの取組について、年間スケジュール通りに円滑に実施することができた。
	有	A		
	R5		今後の課題	新規取組として、多剤重複服薬・頻回受診がみられる後期高齢者に対してアプローチを検討する。
	有			

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ５）　資料１－１

事業№	512302	担当課室	保健事業室
事業名	健康増進計画事業の推進		
事業概要	市民が生涯を通じて心身の健康を維持・増進できるよう、市民と行政、関係機関が一体となって、健康づくりに取り組むため、健康増進計画事業を推進する。		
R5の取組内容	検（健）診周知：広報・ホームページ・銚子市公式LINEを活用した。また、ライフステージに合わせた受診勧奨通知や、未受診の方へ再受診勧奨通知を行った。 特定保健指導：一部の医療機関で特定保健指導の委託を行い受診者の利便性を図った。		
評価内容	評価指標	健康増進計画事業の推進の有無	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：健康増進策の一環として、様々な手法で検（健）診の周知を行ったことで受診数が増加傾向にあるが、まだ、新型コロナ流行前には戻っていない。
	R5		今後の課題：検（健）診の申込は電話や当課窓口に限られ、申込受付時間は就業時間内であった。検（健）診の申込をしやすい環境にするため、従来の申込方法に加えWEB申込の導入を図る。
	有		

事業№	512303	担当課室	保健事業室
事業名	食生活健康推進員の活動支援		
事業概要	・地域住民と行政のパイプ役として市民の健康の保持および増進に寄与し、自主的に活動する食生活健康推進員を育成する。 ・安定的活動ができるよう補助金を交付し、財政的に支援する。		
R5の取組内容	活動につながる研修会を開催した。理事会等に市職員が同席し、必要時に助言した。 会計、監査が適切に行われるよう支援した。		
評価内容	評価指標	食生活健康推進員の活動支援の有無	
	R4	評価	
	有	B	評価理由：活動支援は行ったが、一方で、必要以上の関与を行った。
	R5		今後の課題：推進員に主体的に活動してもらえる支援の方法を検討する。
	有		